

## CONTENTS

- 02 食料・農業政策と  
地域づくり
- 04 パルシステムの産直
- 06 データで知る産直商品  
産直青果／産直米／産直肉  
産直牛乳／産直たまご／水産  
産直原料加工品／国際産直／森林産直
- 27 産地とともに歩む未来  
生消協／産地交流／公開確認会
- 30 協議会
- 32 環境と産直
- 33 資料集
- 35 用語集

# パルシステム 産直データブック 2025



# 全国の産直産地と手を携え、 「国産で食料を確保」に取り組めます

パルシステムは2025年度、新たな食料・農業政策をスタートさせます。2000年3月に制定した「食料・農業政策」から20年が経過するなかで、外部環境は大きく変化しました。農畜水産業の現場では生産人口の減少や高齢化が深刻となり、気候変動による地球温暖化の影響もあって、いっそう厳しい状況下に置かれています。これまでもパルシステムは政策のなかで「国産で食料を確保」する食料安全保障を重要視してきましたが、今いっそう、農畜水産業に関わる産直産地と手を携え、生産者と地域のくらしを豊かにする政策こそが、真の食料安全保障につながると考えています。

## 農業人口の減少

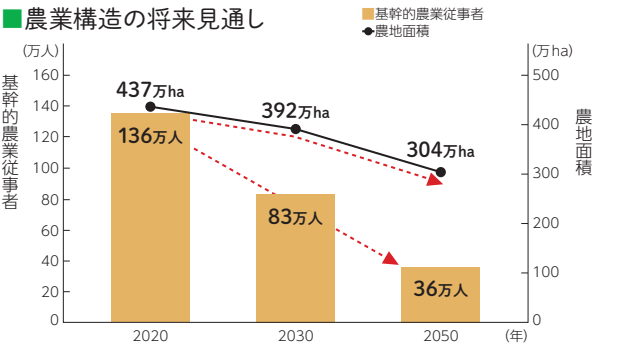
### スマート農業だけでなく まず農業従事者の育成を

日本の基幹的農業従事者\*は2000年が約240万人だったのに対し、現在はその半分以上まで減少しています。そのうち約8割が60歳以上といわれ、着実に高齢化が進行しています。農林水産省の調査によれば、2030年には約83万人に、2050年には約36万人に減少すると予測されています。このまま手を打たなければ、今当たり前のように口にしている野菜や果物もいずれ手に入らなくなり、ますます輸入品に依存するくらしを強いられるかもしれません。

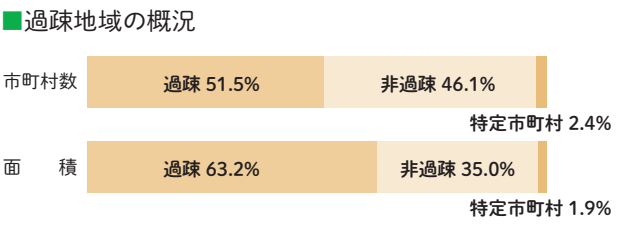
こうした農業人口の減少と高齢化を解決するために推進されているのがロボットやAI技術を駆使した「スマート農業」です。ロボットが土を耕し、種を植え、AIが農産物の生育状況を一元管理する――。農業の生産性向上にひと役買う技術ですが、小規模の農家がほとんどを占め、中山間部も多い日本農業においてスマート農業が高い効果を発揮できる場面はまだ限られています。機械化のコスト面から「農地の集約化」が必要となりますが、全国的に農地が分散しており、ひと筋縄にはいきません。

現時点で「スマート農業」で見込める効果が限定的な地域でも、農業人口の増加に向けて取り組めることはあります。それが、新規就農支援をはじめとした「農業従事者の育成」。産地の裁量で研修や生活補助の制度を設けられることに加え、高齢化による引退を見据えた技術の継承や農地の引継ぎが行えるメリットがあります。パルシステムもいち消費地として農業人口の増加に寄与するため、産地と手を携え、交流から始まる地域づくりを実践していきます。

※基幹的農業従事者…自営農業に主として従事した世帯員（農業就業人口）のうち、ふだんの主な状態が「主に仕事（農業）」である者（農水省統計用語より）



出典：（基幹的農業従事者数）2020年農林業センサスよりJA全中推計  
（農地面積）国土交通省「国土の長期展望」における単純推計



出典：令和4年度版「過疎対策の現況」（総務省）

国土の6割を占める地域が過疎地です。森・里・川・海の自然環境を守れなくなった場合、食料が確保できなくなるだけでなく、自然災害のリスクも高まります。



産直産地「野菜くらぶ」では長年にわたり、新規就農希望者を独自制度「独立支援プログラム」でバックアップ。修了生の手で、創業地の群馬県から青森県、静岡県など他県にも拠点を広げています。（写真は「独立支援プログラム」J5期生、静岡支部の生産者 深川知久さん）

## 生物多様性の損失

### 多様ないのちは 持続可能性の象徴だった

日本の農林水産業の急激な縮小とともに、あいまいになった人里と山林の境界。さらに、気候変動で山野に野生動物の食べ物がなくなるなか、人間が居住地域を拡大・開発していく流れは今も止まりません。その結果起きているのが、野生動物が街に現れたり、農作物が食べられたりという獣害です。森林が国土の70%近くを占め、森・里・川・海という異なる生きものの生息域が密接している日本で、生きるため以上の何かを犠牲にして得られることはありません。限りある資源をお互いに分け合いながら、共存できる環境を作ることがパルシステムの考える「環境保全型・地域循環型農業」。これが引いては、安定した食料の生産にもつながります。



狩猟免許をもつ生産者自ら、害獣駆除にあたることも



現役のみかん畑（手前）に隣接する、耕作放棄地となったみかん畑（奥）



害獣の侵入・食害対策で、さつまいも畑に張られた電気柵

## 食を通じた地域づくり

### 生産者も消費者も 責任ある生活者のひとり

日本各地の農漁村が健全に維持され、そこで人々が生き生きとくらし、共通の財産である豊かな自然と文化が未来の世代に継承されていくことは、パルシステムの産直事業の大きな目的のひとつです。今年度改訂した「食料・農業政策」では、生産者と消費者がともに「責任ある生活者」として、食料を持続可能な方法で生産し消費する努力を続けることを掲げました。都市と農漁村の区別なく、食文化の継承、地域行政との

#### パルシステムの「食料・農業政策」（一部抜粋）

- ①生産者と消費者の相互理解を柱とした産直事業を継続し、地域の生産活動の拡大発展を図ります。
- ②生産者と消費者が交流し、さらにつながりを深め、豊かな食文化を継承します。
- ③次世代へ健康で健全な暮らしを繋ぐため学校給食等の食育活動を推進し、食に困らない社会を築きます。
- ④生産者と消費者のつながりを強力にし、地域住民や地域行政に連携を広げ、食品事業の展開・新たな雇用の創出など、地域づくりの未来を拓きます。

連帯、農福連携での雇用創出など、食を通じた地域づくりを進めていきます。

## さまざまな賞を受賞しています

パルシステムの産直産地では、持続可能な一次産業への挑戦や食を通じた地域づくりなど多様な取り組みが評価され、数々の賞を受賞しています。



有機栽培への取り組み、新規就農者支援や安定した出荷体制の構築が評価された「佐久ゆき会」（長野県）



首都圏生協と結びついた産直事業、生産拡大や団地化など有機米栽培のモデルケースとなる取り組みが評価された「庄内産直ネットワーク」（山形県）

#### ■パルシステム関連受賞歴（2024年以降）

| 2025年                        |    |                                                      |
|------------------------------|----|------------------------------------------------------|
| 庄内産直ネットワーク（JA庄内たがわ、庄内協同ファーム） | 米  | 「令和6年度山形県農業賞」<br>大高根農場記念山形県農業賞                       |
| JA金沢市砂丘地集出荷場西瓜部会             | 青果 | 「第54回日本農業賞」<br>集団組織の部 大賞                             |
| 2024年                        |    |                                                      |
| 佐久ゆきの会                       | 青果 | 「令和5年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール」<br>有機農業・環境保全型農業部門 農産局長賞 |

# 食と農をつなぎ、豊かな 地域社会をめざしています。

パルシステムの「産直」は、単に安全・安心な食べ物を調達する手段ではありません。大切にしているのは、「つくる人」と「食べる人」がともに健康で安心な暮らしを実現するため、理解し合い、利益もリスクも分かち合える関係を築くこと。農業のもつ多面的な価値を見直しながら、環境保全・資源循環を基本におき、食と農をつないで豊かな地域社会をつくることを目的としています。

有機JAS認証  
取得面積

**2,881ha**

パルシステムでは、有機JAS認証を取得する青果・米の産地が75、生産者数は635人に上ります。認証を取得した面積は2,881haです。

## パルシステムの産直がめざす四原則

1. 生産者・産地が明らかであること
2. 生産方法や出荷基準が明らかで生産の履歴がわかること
3. 環境保全型・資源循環型農業をめざしていること
4. 生産者と組合員相互の交流ができること

## ココが違う！パルシステムの産直

産直協定を結んでいます！

パルシステムと産地で、産直四原則に則った「産直協定書」を締結。協定を結んだ産地のみを「産直産地」とし、市場を介さず農畜産物の直接取引を行っています。



利益もリスクも分かち合う！

「安心でおいしい食べ物を食べたい」「栽培には困難もある」など、組合員と生産者が互いに理解し合い、利益もリスクも分かち合える関係を築いていきます。



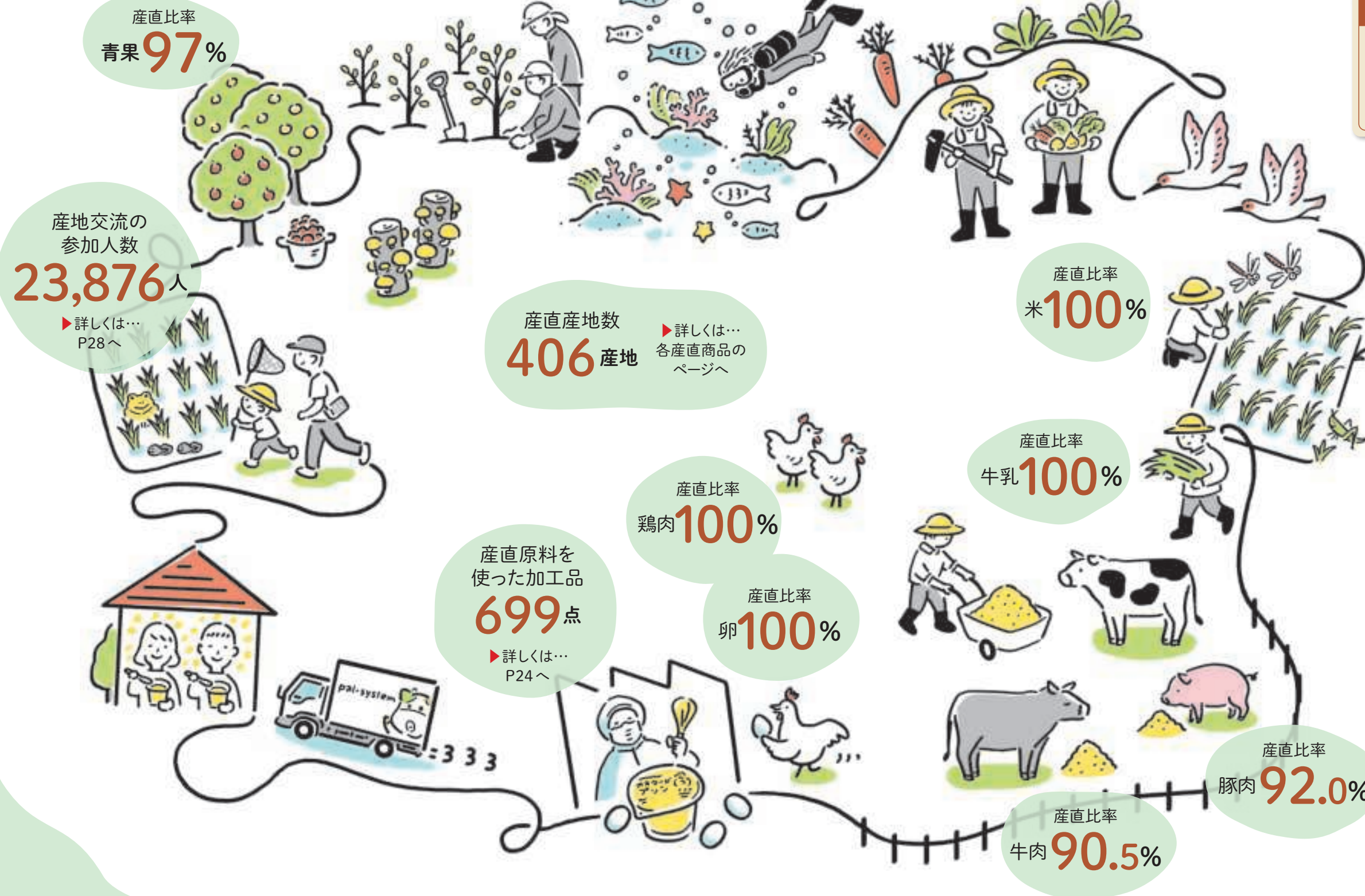
直接交流で意見を交換！

「産地へ行こう。」や「公開確認会」(P28～29参照)などで生産者と組合員が直接交流できる場がたくさんあります。互いに意見や要望、感想などを伝え合うことができます。



ともに豊かな地域社会の実現へ！

食と農をつなぎ、互いの理解を深め合うことで、都市と農村がともに心豊かで持続的な地域社会をつくることをめざしています。





ジョイファーム小田原の生産者  
(左から)大濱照夫さん、敦子さん(神奈川県)

# 土づくり、農薬削減、品質向上 安全性と おいしさを追求

青果の産直比率

97%

※天候不順などの原因によりやむを得ず  
産直産地から調達できない場合、協力  
関係にある市場や取引先より代替品を  
調達し、供給することがあります。

パルシステムでは、生産者と組合員がともに話し合いながら「農薬削減プログラム」に取り組み、独自の基準である「コア・フード」「エコ・チャレンジ」を設定。持続可能な環境保全型農業を広げてきました。

## point 1 農薬の削減

できるだけ化学合成農薬に頼らず、持続可能な環境保全型の農業に。

## point 2 化学肥料の削減

堆肥や有機質肥料を使った土づくりで、おいしく大地にやさしい農産物づくり。

## point 3 鮮度・品質の向上

生産者・消費者協議会と協同して、鮮度や品質の向上に取り組みます。

## 全国の環境保全型農業をリード

パルシステムでは、1998年に「農薬削減プログラム」を策定し、生産者・組合員の共同作業により、取り組みを行ってきました。これは、毒性の強い農薬の使用を避けながら、使用する総量も削減することを目的としてスタートしたプログラムです。農薬削減のリスクなど、生産者と組合員とが相互理解を深めながら、持続可能な環境保全型農業を推進してきました。その結果、有機栽培や独自の栽培基準である「エコ・チャレンジ」栽培の拡大につながっています。各産地で堆肥や有機質肥料を使用した土づくり、太陽熱を利用した土壌殺菌、天敵を利用した害虫対策、人力による草取りなど労力をかけて資源循環と農薬削減に取り組んでいます。



## パルシステム独自の基準 「コア・フード」と「エコ・チャレンジ」

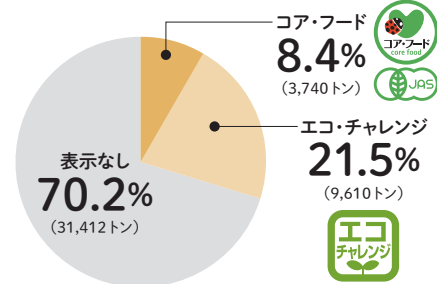
「農薬削減プログラム」の取り組みのなかで生まれたのが、「コア・フード」と「エコ・チャレンジ」です。  
「コア・フード」は、日本農林規格（JAS）に定められた有機農産物。「エコ・チャレンジ」は、化学合成農薬、化学肥料を各都道府県で定められた慣行栽培基準の1/2以下に削減。加えて、パルシステムの「削減目標農薬」の不使用を原則とします。青果は、除草剤、土壌くん蒸剤不使用。  
高温多湿で病害虫による被害が発生しやすい日本において、多くの生産者が非常に高いレベルの栽培に挑戦しています。

### 産直青果の表示

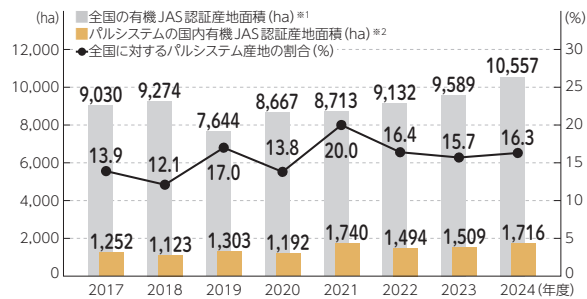
|      |                                                                                          |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------|
|      | 有機JAS認証（化学合成農薬、化学肥料を使わない <sup>※</sup> ）を取得した農産物で、パルシステムのトップブランド。<br>※有機JAS認証での使用可能資材を除く  |
|      | 化学合成農薬、化学肥料を各都道府県で定められた慣行栽培基準の1/2以下に削減。加えて、パルシステムの「削減目標農薬」の不使用を原則とします。青果は、除草剤、土壌くん蒸剤不使用。 |
| 表示なし | パルシステムの産直産地で生産された農産物。                                                                    |

### 栽培基準別の出荷量（2024年度）

※四捨五入の関係で%の合計が100にならない場合があります



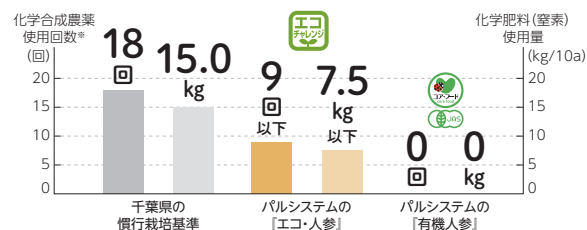
### 有機JAS認証取得面積および パルシステム国内産地の割合



※1 出典：農林水産省統計 2023年6月現在  
(2017年は牧草地を除く面積、2018年以降は牧草地・茶畑を除く面積)

※2 産地情報は2025年3月現在の情報

### 化学合成農薬の使用回数 および化学肥料(窒素)の使用量 (千葉県産の秋冬どりの人参の場合)



※有効成分の延べ回数をカウント

## 産地の枠を越えて、知見を深め合う

パルシステムでは環境保全型農業の技術を高めるため、産地間の技術交流を重視しています。野菜部門では関東近郊の産地での「近郊産地会議」や、北海道の産地での「じゃがいも玉ねぎ会議」などを開催し、農薬削減のための病虫害対策や、品質向上の取り組みについて、お互いの情報交換やほ場視察などの技術交流を重ねています。また、2025年2月には全国の有機野菜産地と「第2回オーガニック技術交流会議」を開催し、今後の有機農業の普及について活発な意見交換を行いました。  
果物の果樹部門では2024年度、「みかん会議」「りんご会議」「山梨フルーツ会議」の3会議体で活動を支援。3部会合同での「果樹サミット」を2025年2月に都内で開催しました。「気

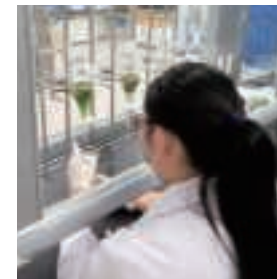
候、パルシステムと産地の変遷から見る果物の今後」をテーマに産地・パルシステムによる報告や、グループディスカッションを行い、知見を深めました。



2025年2月の果樹サミットの様子

## 商品検査センターで残留農薬など化学物質をチェック

パルシステムの商品検査センターでは、理化学検査などを通して取り扱い食品の安全性の確認と、品質向上に取り組んでいます。産直青果に対する残留農薬検査では、農薬など化学物質403成分を一斉に検査しています（2024年現在）。とくに産直農産物は、「事前に使用申請の無い農薬が検出されない」「残留農薬は国の基準の1/10以下」という高い目標をクリアするため、結果を産地と共有し、連携して品質向上に取り組んでいます。



残留農薬検査での前処理の様子。  
検査結果は産地へフィードバックします



残留農薬検査の分析機器LC/MS/MS

## 光センサーで糖度保証と品質向上

品質を担保するには、目に見えない「中身」の検査も重要です。パルシステムでは2010年から光センサー付きの選果機を導入。果物に光（近赤外線）を当て、透過した光の量をもとに1個ずつ内部を確認します。果肉の変色や蜜の入り具合、糖度、酸度などを測定し中身の品質を客観的に評価することが可能です。品質向上に役立てるだけでなく、一定の基準をクリアしたものを「糖度保証」として組合員のもとに届けています。

|      |                 |
|------|-----------------|
| 糖度保証 | 柑橘類、梨、りんご、柿、メロン |
| 品質向上 | みかん、りんご         |

※一部、産地にて光センサー選果



果実に光を当て、外見だけではわからない中身の品質を1個1個チェックすることができます



りんごのように、褐変(かっぺん)と呼ばれる内部の変色を発見することもできます

## 産直青果の流通を支える(株)パルライン

パルシステムグループの一員である(株)パルラインが運営する2カ所の青果センターでは、産直産地から届けられた野菜や果物の検品・計量・小分け(袋詰め)作業を、年間約4,000万パック行っています。熟練した作業担当者の目と手で日々変動する青果の品質状況に対応し、産地・生産者と組合員の食卓をつないでいます。また、有機農産物の小分け作業に必要な「有機JAS認証」を取得し、環境保全型・資源循環型農業をサポートしています。



# 日本全国の産地から青果をお届け

現在、産直協定を交わしている青果の産地は全国 291 産地。  
これらの産地から出荷された商品のみを「産直品」と位置づけています。  
すべての産地と作付け計画、栽培管理を行い、  
誰がどのように作ったものか、きちんとたどれる仕組みになっています。

※太字はパルシステム生産者・消費者協議会(▶P27)会員  
※産地によっては取扱品目により、複数の県からお届けしています

## 九州・沖縄

| 県名  | 産地名            | アジ | コ | 主な取扱品目                         |
|-----|----------------|----|---|--------------------------------|
| 福岡  | JA筑前あさくら       |    |   | 柿・梨・いちじく                       |
|     | 鳥越ネットワーク       | ○  |   | ミニトマト・セロリ・トマト・菜の花・レモン          |
|     | JAふくおか八女       |    | ○ | 野菜全般・いちご・桃・ぶどう・柑橘・梨・キウイ        |
|     | 福岡マルタ          |    | ○ | レモン・柑橘                         |
| 佐賀  | JAさが           |    |   | アスパラ                           |
|     | 佐藤農場           | ○  |   | 柑橘・レモン                         |
| 長崎  | マルハ園芸          |    | ○ | 玉ねぎ・れんこん                       |
|     | 北有馬モグラ会        |    | ○ | 柑橘                             |
|     | 国見マルタ          |    |   | いちご・メロン                        |
|     | 産直南島原          |    | ○ | 玉ねぎ                            |
|     | JA島原雲仙         |    |   | いちご                            |
|     | 島原自然塾          | ○  | ○ | 人参・しょうが・とうもろこし                 |
|     | 長有研            | ○  | ○ | 野菜全般・柑橘・びわ・レモン                 |
|     | ながさき南部生産組合     | ○  | ○ | 野菜全般・いちご・メロン                   |
|     | JAながさき西海       |    |   | スナップえんどう                       |
|     | 西九州マルタ         |    | ○ | 柑橘・レモン・玉ねぎ                     |
| 熊本  | 日野江マルタ         |    | ○ | 柑橘・いちご・レモン                     |
|     | 松尾青果           |    | ○ | じゃがいも                          |
|     | 芦北モグラ会         |    |   | 柑橘                             |
|     | 伊藤農園           |    | ○ | いちご                            |
|     | 大矢野有機農産物供給センター |    |   | 柑橘                             |
|     | おても会           |    |   | 柑橘                             |
|     | JAかみましき        |    |   | 柿・栗                            |
|     | 河内マルタ          |    |   | 柑橘                             |
|     | JA菊池           |    |   | 栗・柿・新ごぼう                       |
|     | 草枕グループ         |    | ○ | 柑橘                             |
| 大分  | JA熊本うき         |    |   | 栗・柿                            |
|     | 熊本大同青果         |    |   | 野菜全般・柑橘・柿                      |
|     | くまもと有機の会       | ○  |   | 人参                             |
|     | 玄柏舎            |    |   | 柑橘                             |
|     | さかもとふーつ        | ○  |   | 柑橘                             |
|     | 田浦マルタ          | ○  | ○ | 柑橘・レモン                         |
|     | JAたまた          |    |   | いちご                            |
|     | 肥後あゆみの会        | ○  | ○ | 柑橘・トマト                         |
|     | 肥後やまと          | ○  |   | 野菜全般                           |
|     | 福浜マルタ          |    | ○ | 柑橘・レモン                         |
| 宮崎  | フレッシュアグリ九州     |    |   | トマト                            |
|     | フレッシュダイレクト     | ○  |   | 野菜全般・いちご                       |
|     | 味咲             |    |   | 柑橘・梅                           |
|     | みすみモグラ会        | ○  |   | 柑橘・レモン                         |
|     | ゆらぎふぁーむ        |    |   | きゅうり・トマト                       |
|     | JAおおいた         |    |   | スナップえんどう・菜の花                   |
|     | 大分有機かぼす農園      | ○  |   | かぼす                            |
|     | JAみやざき         |    |   | ピーマン・ズッキーニ                     |
|     | 児湯広域森林組合       |    |   | ゆず                             |
|     | NST            |    |   | カラ・ピーマン・ピーマン・きゅうり              |
| 鹿児島 | JAあまみ          | ○  |   | かぼちゃ・タンカン・豆類                   |
|     | JAいぶすぎ         |    |   | 野菜全般                           |
|     | JA鹿児島いすみ       |    |   | びわ・柑橘・野菜全般                     |
|     | JA鹿児島きもつき      |    |   | 野菜全般・びわ・金柑                     |
|     | 鹿児島くみあい食品      |    |   | 野菜・果物・豆類                       |
|     | JA鹿児島みらい       | ○  |   | 小松菜・桜島小みかん・びわ                  |
|     | かごしま有機生産組合     | ○  |   | 野菜全般                           |
|     | JA北さつま         |    |   | らっきょう・新ごぼう・金柑                  |
|     | JA肝付吾平町        |    |   | 長なす                            |
|     | JAさつま日置        |    |   | 柑橘                             |
| 沖縄  | JA種子屋久         |    |   | タンカン・パッションフルーツ・野菜全般            |
|     | JAそお鹿児島        |    |   | 枝豆・みょうが                        |
|     | 鹿楽モグラ会         |    |   | 柑橘                             |
|     | 三矢物産           |    |   | 豆類                             |
|     | 水俣マルタ          |    |   | 柑橘                             |
|     | JA南さつま         |    |   | 金柑・らっきょう                       |
|     | 沖縄アロエ          |    |   | タンカン                           |
|     | JAおきなわ         |    |   | かぼちゃ・オクラ・パイン・タンカン・マンゴー・シークワーサー |
|     | 沖縄ナチュラルファーム    |    |   | マンゴー                           |
|     | ティダはうす         |    |   | かぼちゃ                           |
| 近畿  | 真南風            |    |   | パイン・マンゴー・シークワーサー・かぼちゃ・オクラ・ピーマン |

## 中国

| 県名 | 産地名            | アジ | コ | 主な取扱品目  |
|----|----------------|----|---|---------|
| 鳥取 | 北村きのこ園         |    |   | エリンギ    |
|    | JA鳥取いなば        |    |   | らっきょう・柿 |
|    | JA鳥取西部         |    |   | 梨       |
|    | JA鳥取中央         |    |   | 長芋・梨    |
| 島根 | JAしまね          |    |   | ぶどう     |
|    | やさか共同農場        | ○  |   | 鷹の爪     |
| 岡山 | ユキグニファクトリー     |    |   | マッシュルーム |
|    | JAひろしま         |    | ○ | 柑橘・レモン  |
| 広島 | JA広島ゆたか        |    |   | レモン     |
|    | 山口 岩国れんこん生産者の会 |    |   | れんこん    |

## 四国

| 県名 | 産地名                | アジ | コ | 主な取扱品目          |
|----|--------------------|----|---|-----------------|
| 香川 | JA香川県              |    |   | 菜の花・びわ・にんにく・人参  |
|    | 徳島                 |    |   | すだち             |
| 愛媛 | 南風ベジタブル            |    |   | なす・ゆず(高知県からお届け) |
|    | JAえひめ中央            |    |   | 柑橘              |
|    | JAえひめ未来            |    |   | 七草セット           |
|    | 越智今治農業協同組合         |    |   | 柑橘              |
|    | 菊池農園               |    | ○ | 柑橘              |
|    | カラー・ピーマン・ピーマン・きゅうり |    |   | 柑橘              |
|    | 四国エコネット            |    | ○ | 柑橘・キウイ・ゆず       |
|    | JAにしろわ             |    |   | 柑橘              |
|    | ニュース               |    | ○ | 柑橘・キウイ          |
|    | 無茶々園               |    | ○ | 柑橘・キウイ・ゆず・レモン   |
| 高知 | Ikumiオーガニックトマトファーム |    | ○ | トマト             |
|    | 高生連                |    | ○ | しょうが・柑橘         |
| 近畿 | JA高知県              |    |   | なす・ピーマン・柑橘      |
|    | 四国の野菜              |    |   | なす              |
|    | JA土佐くろしお           |    |   | みょうが            |
|    | 夢産地とさやま開発公社        | ○  |   | みょうが・ゆず・しょうが    |
|    | よさこいファーム           |    | ○ | しょうが            |

## 近畿

| 府県名 | 産地名           | アジ | コ | 主な取扱品目                     |
|-----|---------------|----|---|----------------------------|
| 三重  | 浅井農園          |    |   | キウイ                        |
|     | JA伊勢          |    |   | 梅・柑橘・レモン・柿                 |
|     | 紀南農民組合        |    |   | 柑橘                         |
|     | 御浜天地農場        | ○  |   | 梅・柑橘                       |
| 滋賀  | 滋賀有機ネットワーク    |    | ○ | みず菜・大根菜                    |
|     | 農民連京都産直センター   | ○  |   | みず菜・枝豆・九条ねぎ・万願寺とうがらし       |
| 大阪  | なかまら農園        |    |   | ぶどう                        |
|     | 兵庫農民連産直センター   |    |   | 枝豆                         |
| 奈良  | 大紀コープファーム     | ○  | ○ | 柿・梅・玉ねぎ・柑橘・びわ・桃            |
|     | 西日本有機農業生産協同組合 | ○  |   | 野菜全般                       |
| 和歌山 | JA紀南          |    | ○ | 柑橘・レモン・梅                   |
|     | 紀ノ川農業協同組合     |    | ○ | 柑橘・いちじく・すもも・柿・キウイ・桃・梅・野菜全般 |
|     | さんまる柑橘同志会     |    | ○ | 柑橘・レモン                     |
|     | しもっコープファーム    |    |   | すだち・柑橘                     |

## 北海道・東北

| 道名  | 産地名               | アジ | コ | 主な取扱品目                 |
|-----|-------------------|----|---|------------------------|
| 北海道 | Love ファーム         |    |   | ブロッコリー                 |
|     | イナソーファーム          | ○  |   | トマト・かぼちゃ               |
|     | UNO ORGANIC FARM  | ○  |   | 玉ねぎ                    |
|     | 大牧農場              |    | ○ | じゃがいも                  |
|     | 置戸モグラ会            |    | ○ | 玉ねぎ・人参・じゃがいも           |
|     | JAおとふけ            |    | ○ | 玉ねぎ・人参・かぼちゃ・アスパラ       |
|     | オホーツク玉葱出荷グループ     |    |   | 玉ねぎ                    |
|     | JA上川中央            |    |   | まいたけ・じゃがいも             |
|     | JA北はるか            |    |   | かぼちゃ・アスパラ・フルーツマト       |
|     | JA北ひびき            |    |   | キャベツ                   |
| 青森  | 北見生産者出荷組合         |    |   | 玉ねぎ                    |
|     | JAきたみらい           | ○  |   | 玉ねぎ・じゃがいも              |
|     | JA木野              |    | ○ | ブロッコリー・かぼちゃ・とうもろこし・玉ねぎ |
|     | JAこしみず・健土塾        |    |   | 玉ねぎ                    |
|     | 佐伯農園              |    | ○ | ミニトマト                  |
|     | 土別農園・土別市多奇有機農業研究会 |    | ○ | 玉ねぎ・じゃがいも・かぼちゃ         |
|     | JA新おたる            |    |   | さくらんぼ                  |
|     | 大雪を囲む会            |    | ○ | 人参・じゃがいも・玉ねぎ           |
|     | JA道北よる            |    |   | アスパラ・とうもろこし            |
|     | 十勝中央青果団地          |    |   | 長芋                     |
| 岩手  | 得地農場              |    |   | ブロッコリー                 |
|     | JAながめま            |    | ○ | じゃがいも・ブロッコリー           |
|     | JAなんぼろ            |    |   | すいか                    |
|     | JAびえい             |    |   | アスパラ                   |
|     | JAびらとり            |    |   | トマト                    |
|     | JAふらの             |    | ○ | ミニトマト・スナップえんどう・すいか     |
|     | 富良野青果センター         |    | ○ | 野菜全般・すいか・メロン           |
|     | ベジタブルークス          |    |   | ブロッコリー・アスパラ・とうもろこし・人参  |
|     | 北海道有機農業協同組合       | ○  |   | 野菜全般                   |
|     | JA幕別町             |    |   | じゃがいも                  |
| 宮城  | 南空知玉葱出荷グループ       |    |   | 玉ねぎ                    |
|     | JAめむろ             |    |   | じゃがいも                  |
|     | 矢澤農場グループ          |    |   | みつば・大根・ブロッコリー・アスパラ     |
|     | 矢野農園              |    |   | じゃがいも                  |
|     | JAようてい            |    |   | じゃがいも                  |
|     | ようていパテト13         |    |   | じゃがいも                  |
|     | 余湖農園              |    |   | みつば                    |
|     | 青森 幸四園            |    | ○ | りんご                    |

| 県名  | 産地名           | アジ | コ | 主な取扱品目                    |
|-----|---------------|----|---|---------------------------|
| 青森  | ゴールド農園        |    |   | りんご                       |
|     | 田子にんにく出荷組合    |    |   | にんにく                      |
|     | JA津軽みらい       |    |   | 大根                        |
|     | ナチュラルファーム     |    |   | 人参・大根                     |
| 岩手  | 八峰園           |    | ○ | りんご・トマト・にんにく              |
|     | JAゆき青森        |    |   | にんにく                      |
|     | JA新しいわて       |    |   | ピーマン                      |
|     | JA新みやぎ        |    |   | 玉ねぎ                       |
| 宮城  | フェニクス         |    | ○ | ペピーリーフ・ミックスカールスプラウト       |
|     | JA秋田ふるさと      |    |   | トマト・きゅうり                  |
|     | 雄勝りんご生産同志会    |    | ○ | りんご・さくらんぼ                 |
|     | JAかつの         |    |   | きゅうり・桃・トマト                |
| 秋田  | 花咲農園          |    | ○ | かぼちゃ・にんにく・青大豆・玉ねぎ         |
|     | JAおいしいもがみ     |    |   | たらの芽                      |
|     | JAさがえ西村山      |    |   | 枝豆・アスパラ・さくらんぼ・ぶどう・すもも・りんご |
|     | JAさくらんぼひがしね   |    |   | さくらんぼ・洋梨・桃                |
| 山形  | 庄内協同ファーム      |    | ○ | 枝豆                        |
|     | JA庄内たがわ       |    |   | 野菜全般・柿                    |
|     | JA庄内みどり       |    |   | メロン                       |
|     | JA鶴岡          |    |   | 枝豆・メロン                    |
| 福島  | 天童果実同志会       |    | ○ | りんご・洋梨・さくらんぼ              |
|     | 錦の会           |    |   | さくらんぼ・洋梨・りんご              |
|     | 舟形マッシュルーム     |    |   | マッシュルーム                   |
|     | 丸公生産組合        |    |   | たらの芽                      |
| 茨城  | 村山マルタ         |    |   | すいか                       |
|     | JA山形おきたま      |    |   | ぶどう                       |
|     | 山形有機マルタ       |    |   | さくらんぼ・洋梨                  |
|     | 米沢郷牧場         |    | ○ | りんご・洋梨・さくらんぼ・じゃがいも        |
| 群馬  | あいづグリーンネットワーク |    | ○ | 野菜全般・柿・ぶどう                |
|     | うもれ木の会        |    | ○ | 梨・桃                       |
|     | 小川きのこ園        |    |   | エリンギ                      |
|     | ジェイラップ        |    |   | きゅうり                      |
| 東京都 | 旬彩ファーム        |    | ○ | 玉ねぎ・人参・野菜セット              |
|     | 二本松有機農業研究会    |    | ○ | きゅうり・スナップえんどう・絹さや・人参      |
|     | ふくしま梨ネット      |    |   | 梨                         |
|     | JAふくしま未来      |    |   | スナップえんどう・絹さや・桃・きゅうり・ぶどう   |
| 千葉県 | みちのく野菜倶楽部     |    | ○ | トマト・きゅうり・ブロッコリー           |
|     | JA夢みなみ        |    |   | ブロッコリー・梨・トマト・きゅうり・にがうり    |

## 関東

| 県名 | 産地名           | アジ | コ | 主な取扱品目                |
|----|---------------|----|---|-----------------------|
| 茨城 | あゆみの会         |    | ○ | 野菜全般                  |
|    | JA茨城旭村        |    |   | メロン・いちご               |
|    | エコーたまつくり      |    | ○ | 野菜全般                  |
|    | オオスキ          |    |   | とうもろこし                |
|    | カモスフィールド      |    | ○ | 小松菜・ほうれん草・里芋          |
|    | JA北つくば        |    |   | すいか                   |
|    | 常総センター        |    | ○ | れんこん・根菜類              |
|    | JA常総ひり産直研究会   |    | ○ | 野菜全般・すいか              |
|    | JA新ひたち野       |    |   | れんこん・そらまめ             |
|    | JAつくば市谷田部産直部会 |    | ○ | 野菜全般                  |
| 栃木 | HATAKEカンパニー   |    | ○ | ペピーリーフ                |
|    | 菓業野菜産直        |    | ○ | 野菜全般                  |
|    | ふきのとう産直センター   |    | ○ | 野菜全般                  |
|    | JA水戸          |    |   | メロン・いちご               |
|    | JAやさと         |    | ○ | 野菜全般                  |
|    | 八千代産直         |    | ○ | 野菜全般・メロン・すいか          |
|    | 有機農法ギルド       |    | ○ | 野菜全般・キウイ              |
|    | レインボーフューチャー   |    | ○ | 春菊・ペピーリーフ             |
|    | 協和園芸開発        |    |   | フルーツマト                |
|    | JAうつのみや       |    |   | いちご・トマト               |
| 群馬 | 栃木元気会         |    | ○ | ミニトマト・トマト・にら・きゅうり・玉ねぎ |
|    | JAなす南         |    |   | 梨・いちご                 |
|    | 福田農園          |    |   | 玉ねぎ                   |
|    | JA邑楽館林        |    |   | きゅうり                  |
|    | JA甘楽富岡        |    |   | 下仁田ねぎ                 |
|    | 北軽井沢有機ファミリィ   |    | ○ | キャベツ・大根               |
|    | くらぶち草の会       |    | ○ | 野菜全般                  |
|    | 群馬南部モグラ会      |    | ○ | 小松菜                   |

## 中部

| 県名 | 産地名         | アジ | コ | 主な取扱品目               |
|----|-------------|----|---|----------------------|
| 新潟 | 有倉きのこ園      |    |   | 山えのき                 |
|    | 飯塚農場        |    |   | すいか                  |
|    | 一正蒲鉾        |    |   | まいたけ                 |
|    | JAえちご上越     |    |   | 自然薯                  |
|    | 大地          |    |   | 雪下・にんじん・枝豆           |
|    | 中山食育        |    |   | まいたけ・きくらげ            |
|    | JA新潟かがやき    |    |   | 柿・枝豆・さつまいも・里芋・れんこん・梨 |
|    | 野沢果樹園グループ   |    |   | 洋梨                   |
|    | ユキグニファクトリー  |    |   | まいたけ                 |
|    | JA金沢市       |    |   | さつまいも・すいか・れんこん・きゅうり  |
| 石川 | 勝沼平有機果実組合   |    | ○ | ぶどう・すもも              |
|    | グットファーム     |    | ○ | 野菜全般                 |
|    | 白州森と水の里センター |    | ○ | 野菜全般                 |
|    | ファーマン       |    | ○ | かぼちゃ・玉ねぎ・にんにく        |
|    | JAふえふき      |    |   | 桃・ぶどう                |
|    | フォレストファーム   |    | ○ | クレソン                 |
|    | JAフルーツ山梨    |    |   | 桃・ぶどう・すもも            |
|    | 御坂うまいもの会    |    | ○ | 桃・ぶどう・すもも            |
|    | JA南アルプス市    |    |   | すもも                  |
|    | ももっこファーム山梨  |    | ○ | 桃・ぶどう・すもも            |
| 山梨 | やはた会        |    | ○ | 桃・ぶどう・すもも・キウイ        |
|    | やまなし特裁協同組合  |    | ○ | 桃                    |
|    | 青木農園        |    | ○ | りんご・ぶどう              |
|    | アップルファームさみず |    | ○ | りんご                  |
|    | 飯山中央出荷組合    |    |   | えのき茸・ズッキーニ           |
|    | JA上伊那       |    |   | 梨・かりん・りんご・ブルーベリー     |

| 県名            | 産地名       | フェア<br>ード   | コ<br>ー<br>ポ<br>レ<br>ー<br>ション | 主な取扱品目           |
|---------------|-----------|-------------|------------------------------|------------------|
| 長野            | JAグリーン長野  |             |                              | あんず・桃・ブルー        |
|               | JA佐久浅間    |             |                              | ブルー              |
|               | 佐久ゆき会の会   | ○           | ○                            | 野菜全般             |
|               | 三幸        |             |                              | ぶなしめじ            |
|               | サン・ファーム   |             | ○                            | りんご・あんず          |
|               | 塩尻有機栽培研究会 | ○           |                              | 野菜全般             |
|               | JA信州諏訪    |             |                              | セロリ              |
|               | トップリバー    |             | ○                            | レタス・キャベツ・白菜      |
|               | JA中野市     |             |                              | ぶどう・桃・すもも・りんご・なす |
|               | JAながの     |             |                              | ぶどう              |
| 岐阜            | 丸金グループ    |             |                              | とらまき茸・えのき茸       |
|               | ハッ岳グリーン   |             |                              | ほうれん草            |
|               | ハッ岳モグラ会   | ○           |                              | レタス              |
|               | サラダコスモ    |             |                              | ブロッコリーの新芽・豆苗     |
|               | JAひだ      |             |                              | トマト・ほうれん草        |
|               | 静岡        | アグリサービスジャパン |                              |                  |
| JA遠州中央        |           |             |                              | 野菜全般・いちご         |
| 久望農園          |           |             |                              | 柑橘・キウイ           |
| 七人野菜侍         |           |             |                              | 枝豆・カリフラワー・カリフラワー |
| JAとびあ浜松       |           |             |                              | グレープフルーツ・ブルーベリー  |
| 南伊豆太陽苑生産者グループ |           | ○           |                              | 柑橘・菜の花・野菜全般      |
| 愛知            | 渡辺きのこセンター |             |                              | エリンギ             |
|               | JAあいち知多   |             |                              | いちじく・ぶき          |
|               | JA豊橋      |             |                              | スナップえんどう・キャベツ・柿  |
|               | レトトマト出荷組合 |             |                              | トマト・ミニトマト        |



いのちあふれる田んぼを育む

# 環境保全型の米作り

田んぼは、私たちの大切な食料の生産をはじめ、地域社会や文化、自然環境をも守り育んでいます。産直をきっかけに、環境保全型農業に取り組む生産者が増え、いのちあふれる田んぼが全国に広がっています。

米の産直比率

100%

## point 1 農薬・化学肥料の削減

可能な限り化学合成農薬・化学肥料に頼らず、安心でおいしい米作り。

## point 2 資源循環型の農業

堆肥、有機質肥料を使うなど、地域の資源循環を大切にした農業。

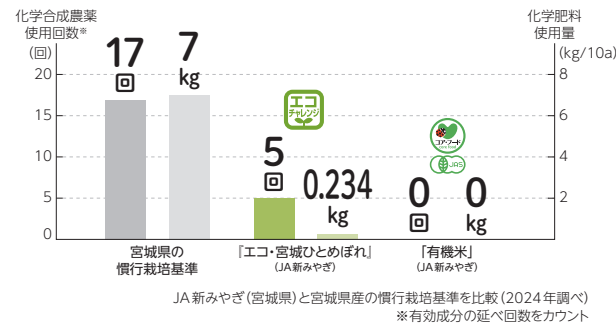
## point 3 生物多様性の保全

環境保全型の農業により、多様な生きものを育む田んぼに。

## 産直産地とともに、いのちを育む米作り

近代の稲作では生産効率を上げるために、機械化とともに殺虫剤や除草剤、化学肥料などを多用してきました。その結果、生態系が乱れ、田んぼから生きものが姿を消してしまいました。一方で、できる限り化学合成農薬や化学肥料に頼らず、環境に負荷をかけない米作りに取り組んできたのがパルシステムの米産地です。手間ひまをかけて環境保全型農業に励むパルシステムの産地の田んぼでは、ホタルなどたくさんの生きものが見られます。こうした取り組みを行う米産地の数は、19道府県、37を数えるまでになっています(▶P12)。

### ■化学合成農薬・化学肥料の削減量



## 「作る」と「食べる」をつなぐ「予約登録米」

予約登録米とは、田植えの時季から組合員が予約登録を行い、新米以降に精米したての米を4週に1度、定期的にお届けする制度です。予約登録米が始まったきっかけは1993年の冷害による米不足。不作の年などでも組合員に安定してお届けするための制度として始まりました。田植え時季から1年分を予約することが、生産者の環境保全型農業の応援にもつながり、「作る」「食べる」の双方が安心できる制度です。予約登録米は今年で31年目を迎え、米の消費量が年々減るなか、登録者は約21万人。パルシステムで取り扱うお米の約半数を占めています。ごはんのある食卓と「いのちあふれる田んぼ」をパルシステムはつないでいます。



JAえちご上越の生産者 平野育男さん(中央)と家族(新潟県)

### 長年の取り組みが評価され 予約登録米がふたつの賞を獲得



GOOD DESIGN AWARD 2023



「2023年度グッドデザイン賞」 「サステナブル★セレクション2023」三つ星

グッドデザイン賞 審査員講評全文(原文ママ)

米の国内消費が減少する中で、米農家は疲弊し農家の減少が加速している問題は、生活者にとっても不安な課題だ。契約栽培による販売は他の通販でも取り扱っているが、パルシステムはカタログ販売が持つメディア力を活かして、体系的に包括した取り組みを行っている点が良い。具体的には、生活者への供給と農家の収入の2つの安定を同時に叶える価値をビジョンとして掲げ、伝え続けることで、信頼づくり、啓発、情報提供、販売、農業体験の提供等を一貫通貫して行っている。一連のプロセスでは、生産と消費をつなぐ意識改革のようなコミュニケーションデザインが、綿々と継続的に行われている点が成功の鍵となっている。また数的な業績としても、サービス開始から約30年間で取引総額の45%に達し、米農家と生活者の安定に寄与している実績も評価した。

## 生物多様性を知る・生かす「田んぼの生きもの調査」

田んぼと向き合い、生きものとの共存を確認し、米作りと地域環境の調和を実感できる取り組みのひとつです。有機栽培を行っている産地を中心に、組合員と生産者がともに、あぜや水路、田んぼの生きものを観察・調査します。

2024年も組合員交流の「田んぼの生きもの調査」に加え、同一産地においての「有機栽培(コア・フード)米」「エコ・チャレンジ米」「一般栽培米」の3つの栽培区分の田んぼを調査しました。今年で3年目となり、どの栽培でも田んぼと関わりのある生きものが生息していることが確認でき、とくに多様性の面からは、有機栽培の田んぼはほかの栽培区分と比べて多くの種類の生きものが生息していると確認できました。また初の試みとして、「田んぼの生きもの調査オンライン配信」を山形県の庄内産直ネットワーク生産者の田んぼで開催しました。現地の田んぼをオンライン中継でつなぎ、周辺の風景や田んぼ、実際に生産者に生きものを捕獲していただき説明やクイズなどを実施し、生きもの調査を体験していただきました。今後も、「環境にやさしい農業」の取り組みや「田んぼと地域環境の関係」などを楽しく伝え産地の環境保全型農業の“見える化”を推進していきます。



JA新みやぎでの生きもの調査の様子

## お米の供給が不安定な今だからこそ「お米で超えてく」が農家を支える

食の多様化などを背景に、米の消費量は年々減少傾向です。そのなかで、肥料・燃料・農機具などの生産コストは高騰を続け、資金難や高齢化などで離農が相次いでいます。さらに、昨年は猛暑や豪雨、カメムシ被害の影響で米の収穫量は落ち込みました。米作りを取り巻く問題が複雑化し、不安定になっている今だからこそ「お米で超えてく」の出番です。「お米で超えてく」は2023年4月に始動した、日本の米産地を応援するアクション。食料自給率の向上だけでなく、生物多様性の保全、文化・景観の継承、水害の被害低減などさまざまな機能を有する日本の田んぼを守ろうという取り組みです。2024年の能登半島地震のときは、無事だった2023年産米をパルシステムが買い取り組合員へお届け。生産者は収入を得ることができ、2024年の米作りに臨むことができました。生産者が手塩にかけたお米を「おいしく食べる」。この当たり前の営みが、産地を守り持続可能な農業と社会の実現へとつながります。



先人が守りつないできた田園風景を守ること「お米で超えてく」のひとつ

生産者の「農ライフ」を紹介する動画「おこめנטアリー」



「お米で超えてく」特設サイトはこちら



### ■2024年度「田んぼの生きもの調査」実施内容

| 日程   | 産地または主催組織    | 参加者                                                                  |
|------|--------------|----------------------------------------------------------------------|
| 6/4  | JA新みやぎ       | JA新みやぎ生産者と職員・パルシステム福島職員・パルシステム群馬職員・パルシステム東京職員・パルシステム埼玉職員・パルシステム連合会職員 |
| 6/8  | 庄内産直ネットワーク   | JA庄内たがわ生産者と職員・パルシステム連合会職員・オンライン参加者                                   |
| 6/11 | JA新潟かがやき     | JA新潟かがやき職員・パルシステム新潟ときめき職員・パルシステム連合会職員                                |
| 6/15 | JA山形おきたま     | JA山形おきたま生産者と職員・パルシステム東京組合員と職員・パルシステム連合会職員                            |
| 6/25 | 大潟村産直会オーリア21 | 大潟村産直会オーリア21生産者・パルシステム連合会職員                                          |
| 7/13 | 南埼玉産直ネットワーク  | 南埼玉産直ネットワーク生産者・パルシステム埼玉組合員と職員・パルシステム連合会職員                            |
| 7/20 | JAつくば市谷田部    | JAつくば市谷田部生産者と職員・パルシステム茨城栃木組合員と職員・パルシステム連合会職員                         |

※田んぼやあぜ・水路などで見つけた生きものを多様性の面から観察・調査する手法を実施。



庄内産直ネットワークでのオンライン生きもの調査の様子

アジアイトトンボ

## もっといい明日へ お米で超えてく

### お米と田んぼを守るサステナブルアクション「お米スイッチ」がスタート

お米のことを知っておいしく食べることが、作り手の支えとなって、田んぼの未来を守ることにつながります。そのための新しいアクションが、2024年4月にスタートしました。

## お米スイッチ

### 食べるもの、使うものをお米にスイッチ! = 切り替え

- ・主食をパンや麺からごはんにスイッチ
- ・卵や肉も、お米で育った鶏や豚を選ぶ
- ・お菓子、調味料、化粧品も、お米を使ったものを



産直米を使った手軽な加工品も

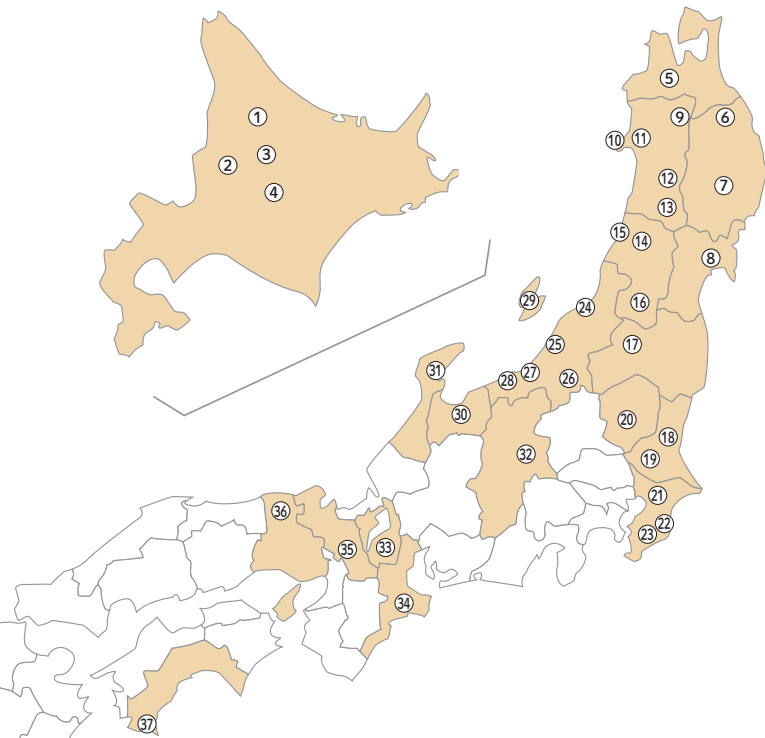
### お米のことをもっと知って 気持ちにスイッチ ON!

- ・カタログやチラシで作り手の想いや苦勞を知って応援
- ・「田んぼの生きもの調査」や「産地ツアー」に参加する
- ・糖質以外に、お米がもつ栄養素を知る

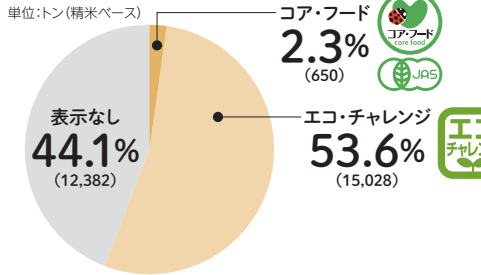


産地ツアーで田植えなどを体験

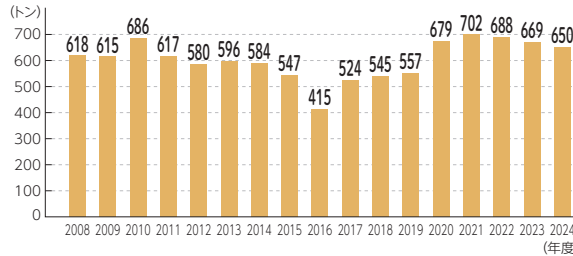
全国37産地の産直米をお届け



■栽培基準別の出荷量(2024年度)



■有機(コア・フード)米販売量推移



※2016年度は2015年に発生した不適合肥料問題により、コア・フード基準としての取扱い量が減少しました

■エコ・チャレンジ米の栽培データ

パルシステムの公式サイト内で、「エコ・チャレンジ」米の栽培データを公開しています。各お米の特徴、作付け面積、化学合成農薬と化学肥料の削減率、使用農薬成分の一例を確認することができます。



■産直米の産地と栽培基準

※太字はパルシステム生産者・消費者協議会(▶P27)会員

| 都道府県名 | 産地名           | 品種                                      | コア・フード | エコ・チャレンジ | 表示なし |
|-------|---------------|-----------------------------------------|--------|----------|------|
| 北海道   | ①士別農園         | おぼろづき<br>ゆきひかり                          |        |          | ○    |
|       | ②JA北いぶき       | きらら397<br>ゆめぴりか<br>ななつぼし                |        |          | ○    |
|       | ③JAびっふ町       | ななつぼし                                   |        | ○        | ○    |
|       | ④JAふらの        | ななつぼし<br>はくちょうもち                        |        |          | ○    |
| 青森    | ⑤JA津軽みらい      | つがるロマン<br>はれわたリ                         | ○      | ○        |      |
| 岩手    | ⑥JA新しいわて      | いわてっこ<br>銀河のしずく                         |        |          | ○    |
|       | ⑦JAいわて花巻      | ひとめぼれ                                   |        | ○        |      |
| 宮城    | ⑧JA新みやぎ       | ひとめぼれ<br>ササニシキ<br>まなむすめ<br>つや姫<br>金のいぶき | ○      | ○        | ○    |
|       | ⑨JAかづの        | 淡雪こまち                                   |        | ○        |      |
|       | ⑩花咲農園         | あきたこまち<br>たつこもち                         | ○      | ○        |      |
|       | ⑪大湯村産直会オーリ721 | あきたこまち                                  | ○      | ○        |      |
| 秋田    | ⑫JA秋田ふるさと     | あきたこまち                                  | ○      | ○        | ○    |
|       | ⑬JAこまち        | あきたこまち<br>金のいぶき                         | ○      | ○        | ○    |
|       | ⑭JA庄内たがわ      | はえぬき<br>つや姫<br>ササニシキ                    |        | ○        | ○    |
|       | ⑮庄内協同ファーム     | つや姫<br>でわのもち                            | ○      | ○        |      |
| 山形    | ⑯JA山形おきたま     | はえぬき<br>つや姫<br>ササニシキ<br>雪若丸             |        |          | ○    |
|       | ⑰JA会津よつば      | こしひかり                                   |        | ○        |      |
|       | ⑱JAやさと        | こしひかり                                   |        | ○        |      |
|       | ⑲JAつくば市谷田部    | こしひかり<br>ミルキーQueen<br>ほしじるし             | ○      | ○        | ○    |
| 福島    | ⑳日本の稲作を守る会    | こしひかり                                   | ○      |          |      |
| 茨城    | ㉑ちば緑耕舎        | こしひかり                                   | ○      | ○        |      |
|       | ㉒JAいすみ        | こしひかり                                   | ○      |          |      |
|       | ㉓JAきみつ        | ふさおとめ                                   |        | ○        | ○    |
|       | ㉔JA新潟かがやき     | こしひかり<br>こしいぶき<br>新之助                   | ○      | ○        | ○    |
| 新潟    | ㉕JAえちご中越      | こしひかり                                   |        | ○        | ○    |
|       | ㉖JAみなみ魚沼      | こしひかり                                   |        | ○        |      |
|       | ㉗謙信の郷         | こしひかり<br>みずほの輝き                         | ○      | ○        | ○    |
|       | ㉘JAえちご上越      | こしひかり                                   | ○      | ○        |      |
| 富山    | ㉙JA佐渡         | こしひかり(トキを育むお米)                          |        | ○        |      |
|       | ㊱JAアルプス       | こしひかり<br>てんたかく<br>富富富                   |        |          | ○    |
|       | 石川            | ㊲JAのと                                   | こしひかり  |          | ○    |
| 長野    | ㊳JA佐久浅間       | こしひかり                                   | ○      | ○        |      |
|       | ㊴JAレーク滋賀      | こしひかり(はなふじ米)                            |        |          | ○    |
| 滋賀    | ㊵JA伊勢         | こしひかり                                   |        |          | ○    |
| 三重    | ㊶農民連京都産直センター  | こしひかり                                   |        |          | ○    |
| 京都    | ㊷JAたじま        | こしひかり(コハノリ育むお米)                         | ○      |          |      |
| 兵庫    | ㊸JA高知県        | こしひかり                                   |        | ○        | ○    |



内藤牧場の放牧場のようす(北海道)

資源を循環させ、自給できる畜産へ

めざすは「日本型畜産」

生産履歴・流通経路を明らかにし、産地からお届けまで一貫管理。産地はできるだけ薬剤に頼らない、健康な飼育を実践し、資源の循環や飼料の自給化も進めています。

肉の産直比率

牛: 90.5%  
豚: 92.0%  
鶏: 100%

point 1

資源循環と自給飼料

ふん尿は堆肥化し田畑へ還元。  
飼料用米など国産自給飼料を推進。

point 2

薬剤に頼らない飼育

動物の生きる環境に配慮し、  
薬剤にできるだけ頼らず健康に飼育。

point 3

いのちと環境を守る

つくる人と食べる人がともに幸せになれる畜産のあり方をめざします。

「畜産生産指標」「日本型畜産」で持続可能な畜産へ

パルシステムの畜産産地では、抗生物質(薬剤)の削減や家畜の生理に合った健康な飼育に取り組んできました。2006年には「畜産生産指標」を作成。健康で安全な畜産を生産者自身が自己点検し、改善していく仕組みをつくり上げました。また2010年からは「日本型畜産」を定め、動物の生きる環境に配慮しながら、輸入飼料にできるだけ頼らず、持続可能な資源循環型の畜産を推進しています。

「アニマルウェルフェア」とは?

快適性に配慮し、家畜の生態や欲求を妨げることがない飼育方法のこと。国際獣疫事務局(OIE)では、アニマルウェルフェアの指針として、「5つの自由」(①飢え、渇き及び栄養不良からの自由、②恐怖及び苦悩からの自由、③物理的及び熱の不快からの自由、④苦痛、障害及び疾病からの自由、⑤通常の行動様式を発現する自由)が示されています。

畜産生産指標 ※一部抜粋

A=必須項目 B=努力項目 C=チャレンジ項目

- 生産方法・出荷基準が明確で生産情報、生産履歴が開示できる／A
- 環境保全型・資源循環型農業への取り組みを目指している／A
- アニマルウェルフェア(快適性に配慮した家畜の飼養管理)の取り組みを目指している／C
- 問題が発生した場合は、生協および関係者(パル・ミート、公社、帳合先、公的機関など)と対話できる／B
- 家畜飼養管理基準を遵守している／A
- 投薬による出荷停止期間(休薬期間)は周知徹底され厳守されている／A

日本型畜産

- ①地域の資源循環に配慮し、国産自給飼料の活用を進めます。
- ②動物の生きる環境に配慮し、薬剤に頼らず健康に育てます。
- ③食と農をつなぎ、「いのち」と「環境」を守ります。

「日本型畜産」モデル図 ※ポークランドグループ(秋田県)の例



健康な飼育  
ストレスの少ない環境で、  
薬剤に頼らず飼育

飼料用米の栽培  
飼料の輸入依存を減らすべく、  
飼料用米を栽培

堆肥を田畑に還元  
できた堆肥は地域の田畑に  
還元されます

パルシステムの  
「日本型畜産」はこちら



## 産直牛

産直牛肉産地では、飼育期間中の一定期間または全期間で、飼料に抗生物質を使いません。またふん尿を敷料とともに堆肥化して農地に還元したり、飼料に食品副産物や飼料用米を使うなど、資源循環型の畜産をめざしています。

### コア・フード牛



- ①予約登録で一頭丸ごと買い支える
- ②北海道の広い牧草地で放牧
- ③輸入飼料に頼らず国産飼料100%
- ④飼料に抗生物質を使わない
- ⑤赤身主体で味わい深い肉質



アンガス種  
またはアンガス系統種

#### 飼料の特徴



「サシ=霜降り」を求め、輸入穀物で効率的に太らせる日本の畜産。この現状に疑問を抱いた生産者たちが、輸入穀物飼料に頼らない、牛の生理に合った飼育と、肉そのものの味わいを大切にしたいのが『コア・フード牛』です。本来の飼料である牧草を中心に、自家栽培のデントコーンや、じゃがいもの皮・おからなどの食品副産物を飼料に活用し、国産飼料100%を実現。こうした飼育に適したアンガス種またはアンガス系統種を選び、放牧期間を設けてのびのび育てています。赤身主体でうまみのある深い味わいが特徴です。



### 北海道産直牛

- ①乳用種の雄牛を肉牛として有効活用
- ②抗生物質を飼料に使わない「休薬期間」を極力長く設けている
- ③赤身主体の肉質で、比較的あっさりした味わい



乳用種

#### 飼料の特徴



ホルスタインなど乳用種の雄牛は乳を出しません。安定した酪農基盤を支えるためにも、雄牛を肉牛として肥育したのが『北海道産直牛』です。牛の健康を第一に考え、広々とした牛舎でストレスをかけずに飼育。8～10カ月齢以降は抗生物質を飼料に添加せず、休薬期間をできるだけ長く設けています。榎本農場では牧草の9割以上を自家栽培、ホクチクファームでは自家栽培したものや、地元産のデントコーンを導入。土幌町肉牛産直会では、北海道産の稲ホールクroppサイレージを導入するなど、輸入飼料にできるだけ頼らない飼育をめざしています。しっかりした食感とあっさりした赤身主体の肉質です。



※原料状況に応じて「コア・フード牛」を使う場合があります。  
※加工品の一部では『こんせん72牛乳』(産直産地)の雌牛を使う場合があります。

### コア・フード牛(北海道)

(ノーザンび〜ふ産直協議会  
コア・フード部会)

- ①宮北牧場
- ②内藤牧場
- ③鉢呂牧場
- ④榛澤牧場
- ⑤雄武肉用牛
- ⑥振興協議会
- ⑦榎本農場
- ⑧榎本農場



### 北海道産直牛(北海道)

(ノーザンび〜ふ産直協議会  
北海道産直牛部会)

- ⑥ホクチクファーム
- ⑦土幌町肉牛産直会
- ⑧榎本農場

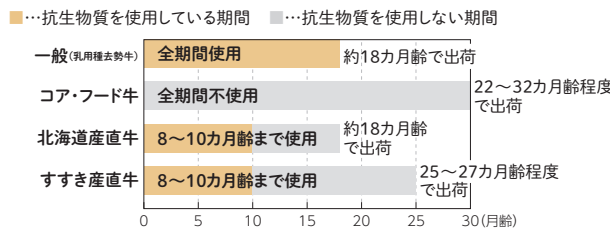
※全産地がパルシステム生産者・消費者協議会(▶P27)会員

### すすき産直牛(福岡県)

- ⑨すすき牧場



### ■抗生物質(飼料添加物)の使用期間の比較



### すすき産直牛

- ①地域の食品副産物、飼料用米を活用し飼料自給率を高めている
- ②8～10カ月齢以降は飼料に抗生物質を使わない
- ③濃厚な赤身に肉のうまみとさらりとした脂が特徴です

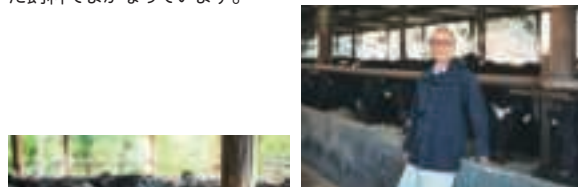


交雑種

#### 飼料の特徴



肉質にすぐれた黒毛和種と乳用種を掛け合わせた交雑種です。国内の仔牛を導入し、福岡県のすすき牧場で飼育します。飼料におからや焼酎かす、ビールかす、菜種油の搾りかすなどの食品副産物を使った発酵飼料を活用。さらに飼料用米も導入し、飼料原料の4～5割を国産、かつ自家配合にこだわった飼料でまかっています。



## 産直豚

豚はわずかな環境の変化でも病気を起こしやすいデリケートな動物。パルシステムの産直産地では、衛生管理・温度管理を徹底し、ストレスの少ない環境を整えることで、できるだけ抗生物質に頼らない健康な飼育をめざしています。

### ポークランドグループ(秋田県)

特定の病原体を持たない「SPF豚」(P35参照)を導入すると同時に、微生物の力を生かす「BMW技術」で豚を健康に育てる飼育を実践。また豚ぶん、もみ殻、おがくずを発酵させた完熟堆肥を豚舎に敷き詰めた「バイオベッド」豚舎を中心に飼育。豚をのびのび健康的に育てることで、抗生物質など薬剤の使用量を最小限に減らしています。ふん尿を堆肥化して地域の田畑に還元する資源循環型の畜産を実践。



2007年に休耕田や耕作放棄地を活用した飼料用米作りのプロジェクトが開始。翌2008年に『日本のこめ豚』が誕生しました。2015年7月末から仕上期の飼料用米配合率を10%から30%に、さらに2022年4月から40%に引き上げ、飼料自給率の向上に取り組んでいます。

### ナカショク(新潟県・山形県・秋田県)

新潟県・山形県・秋田県に複数農場を有する大規模養豚農場で、“「健康」に育て、「安全と安心」をお届けすること”を会社の理念としています。SPF豚の成長段階に合わせて、飼育する場所を繁殖農場・離乳仔豚農場・肥育農場の3つに分けるスリーサイト方式を採用。成長段階に合わせた環境で、ストレスを減らしてのびのびと育てることで豚の免疫力を高めたり、衛生管理を徹底するなどして、健康な豚を育てています。



### 山形コープ豚産直協議会(山形県)

豚舎から出る堆肥を地域の農地に還元するなど、資源循環型の農業を実践。小規模な産地ですが、それだけに豚の健康管理には手間をかけ、ストレスをかけない育て方をめざしています。パルシステムでもっとも歴史のある豚肉産地で、「私が選ぶ」シリーズのハム・ソーセージの原料肉を供給しています。



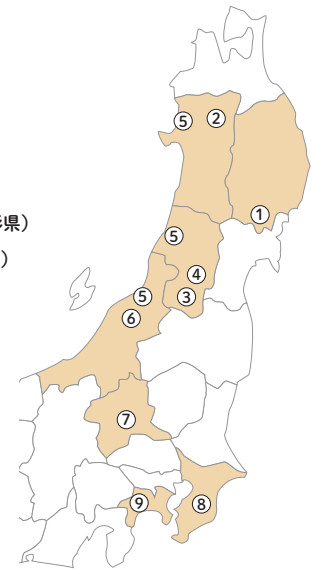
### ピックファーム室岡(山形県)

「愛情を込めて健康に育てることをモットーに、「私が選ぶ」シリーズのハム・ソーセージの原料肉を供給しています。飼料に大麦や海藻などを独自に配合し、肉のうまみを追求しています。また、豚のふんは農家に活用してもらえるよう堆肥化するなど、地域の資源循環の取り組みにも積極的に貢献しています。

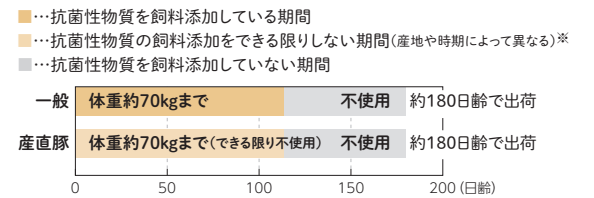


- ①アーク(岩手県)
- ②ポークランドグループ(秋田県)
- ③ピックファーム室岡(山形県)
- ④山形コープ豚産直協議会(山形県)
- ⑤ナカショク(新潟県・山形県・秋田県)
- ⑥新潟ときめき産直豚生産者の会(新潟県)
- ⑦林牧場(群馬県)
- ⑧首都圏とんトン協議会(千葉県)
- ⑨山口養豚場(神奈川県)

※太字はパルシステム生産者・消費者協議会(▶P27)会員



### ■抗生物質(飼料添加物)の使用期間の比較



※豚の育成状況などを見ながら、できる限り抗生物質を飼料添加しないように、各産地で努力を続けています。

### 山口養豚場(神奈川県)

今では珍しい母豚を群れで飼養し、光が入る豚舎でストレスの少ない飼育を実践。丹沢の伏流水に乳酸菌を加えて与えるなど、豚の健康維持に配慮しています。飼料は人工乳(離乳食)を含め、原料を自家配合。パルシステム神奈川の独自商品『神奈川のすくすくパン豚』に取り組んでいます。



### 林牧場(群馬県)

群馬県の赤城山麓を中心に複数の農場を展開する養豚農場。繁殖農場・離乳仔豚農場・肥育農場の3つの成長段階に分けて飼育するスリーサイト方式を採用し、きめ細かな飼育管理を行っています。飼料は豚の成長段階に合わせた栄養バランスを考慮し、自社の飼料工場で配合。各農場では豚舎の清掃・季節ごとの温度管理を徹底するなど、豚が快適に生活できるクリーンな環境づくりを実践し、健康な豚を育てています。



### 首都圏とんトン協議会(千葉県)

千葉県の4生産者からなる協議会。「できるだけ薬に頼らない丈夫な豚を育てるのが基本」をモットーに、ゆとりある豚舎での飼育を実践。豚にとってストレスとなる移動の回数を減らしたり、温度調節と換気に気を配り、病気に強い豚を育てています。ふん尿は完熟発酵させ、堆肥化して地域農業に還元しています。



## 産直鶏

一般的なブロイラーは、法定休業期間(出荷前7日間)を除き、飼料に抗生物質などを添加する場合がほとんど。パルシステムでは、全期間で飼料に抗生物質や合成抗菌剤を添加しない飼育を、すべての産地で実現しています。

### コア・フード地鶏しゃも

北浦しゃも農場(茨城県)

- ①日本在来種の軍鶏(しゃも)の血統を引き継ぐ
- ②特定 JAS 規格で地鶏肉の認定を受けている
- ③飼育日数は75日以上
- ④全期間、飼料に抗生物質は不使用
- ⑤飼料のとうもろこしと大豆かすは分別生産流通管理
- ⑥光と風が入る鶏舎で飼育

「地鶏肉」は、日本農林規格(JAS)の4項目の基準を満たすことが定められています。『コア・フード地鶏しゃも』は、日本在来種である軍鶏の血統を引き継ぐ地鶏。一般のブロイラーが生後40～50日程度で出荷されるのに対し、75日以上かけて育成。飼料は全期間で抗生物質や合成抗菌剤不使用。太陽の光と自然の風が入る鶏舎で運動しているため、しっかりとした弾力とうまみがあります。

### までっこ鶏

までっこチキン生産者連絡協議会(岩手県)

- ①全期間、飼料に抗生物質は不使用
- ②飼育後期に動物性たんぱく質を与えない
- ③光と風が入る鶏舎で飼育

「までに」とは「ていねいに」「丹念に」を意味する岩手県北部の方言。手間ひまかけ、大切に育てようという想いを込め、名付けられました。出荷後の清掃・洗浄作業を徹底的に行うことで、全期間で飼料に抗生物質・合成抗菌剤を使用しない飼育を実現。飼育後期の飼料には動物性たんぱく質を加えず、くさみの少ないあっさりした味に仕上がっています。また、農場を束ねる十文字チキンカンパニーでは鶏ふんを活用したバイオマス発電でパルシステム電力に電力供給を行っています。

### 米沢郷鶏

米沢郷牧場(山形県・宮城県)

- ①全期間、飼料に抗生物質は不使用
- ②飼料のとうもろこしと大豆かすは分別生産流通管理
- ③光と風が入る鶏舎で飼育

1980年、当時としては画期的な「無薬」の実験飼育にパルシステムと連携して挑戦。全期間で飼料に抗生物質・合成抗菌剤を使用しない飼育を確立しました。飼料に規格外米、飼料用米を配合。「BMW技術」をいち早く導入し、鶏ふんは堆肥化して田畑に還元するなど、「自然循環型農業」をめざしています。

## 全国トップレベルの品質管理・加工技術をもつ(株)パル・ミート

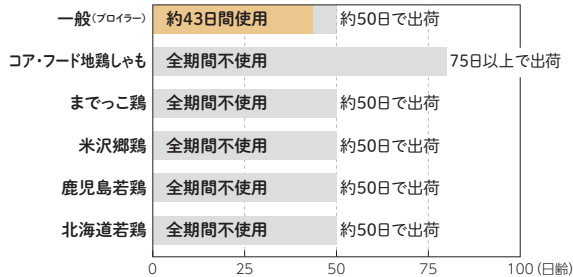
(株)パル・ミートは、1979年にパルシステムの畜産部門が独立してできた畜産専門子会社。精肉加工を行う習志野事業所(千葉県)と、ハム・ソーセージの製造を行う山形事業所(山形県)を持ち、「安心でおいしい肉やハム・ソーセージを食べたい」という組合員の想いにこたえてきました。全国トップレベルの設備とHACCP(P35参照)に準じた厳格な衛生管理基準のもと、原料肉の入荷から整形、パック詰めまで、一貫して同じ工場内で作業。徹底した温度・衛生管理を可能にし、肉の品質保持に適した環境で作業、流通させています。習志野事業所は2023年1月6日に、山形事業所は同年8月10日、一般財団法人食品安全マネジメント協会のJFS-B規格(食品安全マネジメントシステム)の認証を取得しています。

- ①日本ホワイトファーム(北海道)
- ②までっこチキン生産者連絡協議会(岩手県)
- ③米沢郷牧場(山形県・宮城県)
- ④北浦しゃも農場(茨城県)
- ⑤鹿児島くみあいチキンフーズ(鹿児島県)

※太字はパルシステム生産者・消費者協議会(▶P27)会員

### ■抗生物質(飼料添加物)の使用期間の比較

■…抗生物質を使用している期間 ■…抗生物質を使用しない期間



※全産地で感染症予防のためのワクチンを投与しています。

### 鹿児島若鶏

鹿児島くみあいチキンフーズ(鹿児島県)

- ①全期間、飼料に抗生物質は不使用
- ②光と風が入る鶏舎で飼育

太陽の光と自然の風が入る鶏舎で飼育し、全期間を通じて飼料に抗生物質・合成抗菌剤を添加していません。ひなの生産から飼育、と鳥処理・加工までグループ一貫生産を行っています。健康なひなを飼育農家へ供給すること、鶏舎の衛生管理・温度管理を徹底することで薬に頼らない飼育を実現しています。2014年度より、飼料の自給率向上をめざし、飼料用米を配合する取り組みを開始しました。

## 産直肉の産地一覧

|      | 商品名             | 産地名                          | 品種                                    | 出荷<br>日数           | 坪当たり<br>飼育羽数<br>(※1) | ホルモン<br>剤など                                                          | 休業期間<br>(飼料中に<br>抗生物質を<br>入れない期間)         | 産地の特徴                                                                                                                           | 遺伝子<br>組換え飼料<br>使用の有無 | 主な飼料                                                          | 品種の特徴                                                                                                                                                                                                                        | 肉質の特徴                                                               |  |  |
|------|-----------------|------------------------------|---------------------------------------|--------------------|----------------------|----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|---------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|--|--|
| 産直牛肉 | コア・フード牛         | ノーザンび〜ふ<br>産直協議会<br>コア・フード部会 | アンガス種<br>または<br>アンガス<br>系統種           | 22～32<br>カ月齢<br>程度 |                      | 成長促進<br>ホルモン<br>剤の使用<br>は認めな<br>い。                                   | 全期間                                       | ・小規模経営、農家数は6団体<br>・飼料は牧草や食品副産物が<br>中心<br>・全飼育期間を通じて国内自<br>給飼料100%                                                               | 分別<br>管理              | デントコーンサ<br>イレージ、おか<br>らなどの食品<br>副産物、牧草                        | アンガス種は放牧<br>適性があり、牧草<br>や食品副産物な<br>ど、粗飼料でも育<br>ちやすい。                                                                                                                                                                         | 赤身主体の<br>肉質。赤身<br>質でありなが<br>ら、味わ<br>い深い。                            |  |  |
|      | 北海道産直牛          | ノーザンび〜ふ<br>産直協議会<br>北海道産直牛部会 | 乳用種<br>去勢                             | 18カ月<br>齢程度        |                      |                                                                      |                                           | ・農家数は3団体<br>・肥育期間中(10カ月齢以降<br>出荷まで)に飼料に抗生物<br>質を使用しない<br>・牛の健康のために良質な牧草<br>を与えるなど各産地で努力                                         | 不分別                   | とうもろこし、<br>米、小麦、大豆・<br>菜種油かす、ふ<br>すま、牧草                       | 乳用種の雄牛を、<br>肉牛として有効活<br>用。                                                                                                                                                                                                   | 赤身主体の<br>肉質。比較<br>的あっさりし<br>た味わい。                                   |  |  |
|      | すすき産直牛          | すすき牧場                        | 交雑種                                   | 25～27<br>カ月齢<br>程度 |                      |                                                                      |                                           | ・地域の食品副産物を活用<br>・飼料用米を活用し飼料自給<br>率を向上                                                                                           | 不分別                   | とうもろこし、<br>米、大豆、ふす<br>ま、稲サイレー<br>ジ                            | 肉質にすぐれた黒<br>毛和種と乳用種を<br>掛け合わせた交雑<br>種。                                                                                                                                                                                       | さらりとした<br>脂と濃厚な<br>赤身肉。                                             |  |  |
| 産直鶏肉 | コア・フード<br>地鶏しゃも | 北浦しゃも農場                      | 雄:軍鶏<br>833系<br>雌:ロード<br>アイランド<br>レッド | 75日<br>以上          | 33羽<br>以下            | 成長促進<br>ホルモン<br>剤の使用<br>は認めな<br>い。<br>※現状では<br>鶏用に実用<br>化されてい<br>ない。 | 全期間<br>(飼料の中に<br>抗生物質や<br>合成抗菌剤<br>を入れない) | ・個人農家<br>・特定 JAS 地鶏認定を取得<br>・国産飼料用米を使用                                                                                          | 分別<br>管理              | とうもろこし<br>(分別生産流通<br>管理)、マイロ、<br>米、大豆油かす<br>(分別生産流通<br>管理)、魚粉 | 日本在来種としゃ<br>もの交配種で日<br>本農林規格(JAS)<br>で認証された地<br>鶏。締まった肉質<br>に定評がある。                                                                                                                                                          | 適度に歯ご<br>たえがあり、<br>鶏肉の濃厚<br>な味わい。                                   |  |  |
|      | 産直鶏             | 日本ホワイト<br>ファーム               | チャンキー<br>または<br>コップ                   | 約50日               | 約60<br>羽             |                                                                      |                                           | ・大規模経営でひなの生産か<br>ら一貫して行う<br>・北海道産を中心とした国産<br>小麦を飼料に使用<br>・国産飼料用米を使用                                                             | 不分別                   | とうもろこし、<br>米、マイロ、小<br>麦、大豆・菜種<br>油かす                          | 肉用鶏として品種<br>改良が進められ、<br>成長が早く、肉づ<br>きがよい。                                                                                                                                                                                    | 肉厚で比較<br>的脂肪分が<br>少なく、安定<br>した肉質。                                   |  |  |
|      | までっこ鶏/<br>産直鶏   | までっこチキン<br>生産者連絡協議会          |                                       | 約50日               | 約55<br>羽             |                                                                      |                                           | ・大規模経営でひなの生産か<br>ら一貫して行う<br>・鶏ふんを利用したバイオマ<br>ス発電を行う<br>・国産飼料用米を使用                                                               | 不分別                   | とうもろこし、<br>米、マイロ、小<br>麦、大豆・菜種<br>油かす                          |                                                                                                                                                                                                                              |                                                                     |  |  |
|      | 米沢郷鶏/<br>産直鶏    | 米沢郷牧場                        |                                       | 約50日               | 約43<br>羽             |                                                                      |                                           | ・小規模経営<br>・地域循環型農業を実践<br>・規格外米、飼料用米を活用                                                                                          | 分別<br>管理              | とうもろこし(分<br>別生産流通管理)、<br>米、大豆油かす(分<br>別生産流通管理)、<br>魚粉、米ぬか     |                                                                                                                                                                                                                              |                                                                     |  |  |
|      | 鹿児島若鶏/<br>産直鶏   | 鹿児島くみあい<br>チキンフーズ            |                                       | 約50日               | 約55<br>羽             |                                                                      |                                           | ・大規模経営でひなの生産か<br>ら一貫して行う<br>・国産飼料用米を使用                                                                                          | 不分別                   | とうもろこし、<br>マイロ、米、小<br>麦、大豆・菜種<br>油かす                          |                                                                                                                                                                                                                              |                                                                     |  |  |
| 産直豚肉 | 日本のこめ豚/<br>産直豚  | ポークランド<br>グループ<br>(秋田県)      | LWD・<br>WLD                           | 165～<br>170日       |                      | 成長促進<br>ホルモン<br>剤の使用<br>は認めな<br>い。                                   | 出荷前<br>約140日<br>間                         | ・大規模経営<br>・SPF豚(※2)を導入<br>・BMW技術(※3)に取り組む<br>・国産飼料用米を使用                                                                         | 不分別                   | とうもろこし、<br>(マイロ)、米、<br>小麦、大豆・菜<br>種油かす、仕上<br>期飼料に国産<br>米を配合   | LWD・WLDはラン<br>ドレース種(L)・大<br>ヨークシャー種<br>(W)・デュロック種<br>(D)を三元交配し<br>た豚。繁殖性にす<br>ぐれるランドレー<br>ス種(L)と大ヨー<br>クシャー種(W)の<br>交配種を母豚とし<br>て、さらに肉質等<br>にすぐれるデュロ<br>ック種(D)雄豚を<br>交配。三元交配を<br>行うことで、肉<br>質や養豚の生産<br>成績を上げること<br>を目的としている。 | やわらかく適<br>度に脂がのっ<br>ているため、<br>味わいがあり、<br>テーブルとして<br>バランスのと<br>れた肉質。 |  |  |
|      | 産直豚             | アーク<br>(岩手県)                 |                                       | 約180<br>日          |                      |                                                                      | 出荷前<br>約125<br>日間                         | ・大規模経営<br>・繁殖農場、離乳子豚農場、<br>肥育農場の3つに分けるス<br>リーサイト方式と繁殖から<br>肥育まで一貫で生産するワ<br>ンサイト方式を併用<br>・地域循環型農業を実践<br>・国内では数少ない自家配合<br>飼料工場を所有 |                       | とうもろこし、<br>(マイロ)、米、<br>小麦、大豆・菜<br>種油かす                        |                                                                                                                                                                                                                              |                                                                     |  |  |
|      |                 | ビックファーム室岡<br>(山形県)           |                                       | 約180<br>日          |                      |                                                                      | 出荷前<br>約145日<br>間                         | ・中規模経営<br>・繁殖農場、離乳仔豚・肥育<br>農場の2サイト                                                                                              |                       |                                                               |                                                                                                                                                                                                                              |                                                                     |  |  |
|      |                 | 山形コープ<br>豚産直協議会<br>(山形県)     |                                       | 約190<br>日          |                      |                                                                      | 出荷前<br>約90日間                              | ・小規模経営が中心で農家数<br>4戸<br>・地域循環型農業を実践                                                                                              |                       |                                                               |                                                                                                                                                                                                                              |                                                                     |  |  |
|      |                 | ナカシヨク<br>(新潟県・山形県・<br>秋田県)   |                                       | 165～<br>170日       |                      |                                                                      | 出荷前<br>約40～<br>80日間                       | ・大規模経営<br>・繁殖農場、離乳仔豚農場・肥<br>育農場の3つに分けるスリー<br>サイト方式<br>・SPF豚(※2)を導入<br>・地域内の菓子メーカーから<br>出る規格外品などを飼料に<br>活用                       |                       |                                                               |                                                                                                                                                                                                                              |                                                                     |  |  |
|      |                 | 新潟ときめき<br>産直豚生産者の会<br>(新潟県)  |                                       | 約180<br>日          |                      |                                                                      | 出荷前<br>約90日間                              | ・中小規模経営                                                                                                                         |                       |                                                               |                                                                                                                                                                                                                              |                                                                     |  |  |
|      |                 | 林牧場<br>(群馬県)                 |                                       | 約180<br>日          |                      |                                                                      | 出荷前<br>約80日間                              | ・大規模経営<br>・国内では数少ない自家配合<br>飼料工場を所有                                                                                              |                       |                                                               |                                                                                                                                                                                                                              |                                                                     |  |  |
|      |                 | 首都圏<br>とん豚協議会<br>(千葉県)       |                                       | 約190<br>日          |                      |                                                                      | 出荷前<br>約80日間                              | ・中小規模経営で農家数4戸<br>・「パルシステム千葉のこめ<br>豚」に取り組む                                                                                       |                       |                                                               |                                                                                                                                                                                                                              |                                                                     |  |  |
|      |                 | 山口養豚場<br>(神奈川県)              |                                       | 約195<br>日          |                      |                                                                      | 出荷前<br>約110<br>日間                         | ・中規模経営<br>・自家配合飼料を全ステージ<br>で給餌<br>・「神奈川のすくすくパン豚」に<br>取り組む(2015年度供給より)                                                           |                       | とうもろこし、<br>パン粉、米、大<br>豆油かす、ふす<br>ま                            |                                                                                                                                                                                                                              |                                                                     |  |  |
|      |                 |                              |                                       |                    |                      |                                                                      |                                           |                                                                                                                                 |                       |                                                               |                                                                                                                                                                                                                              |                                                                     |  |  |

※1 坪当たり飼育羽数:成鳥段階の羽数。

※2 SPF豚:Specific Pathogen Freeの略で、指定された5つの病原体を持っていない豚のこと。

※3 BMW(Bacteria Mineral Water)技術:土壌微生物と岩石のミネラルを利用して汚水を浄化する技術。

※産地一覧の情報は2025年3月末現在の状況です  
(年度途中で変更の場合もあります)



生乳本来の風味を損なわずに

# 原点は「ほんものの牛乳」

「ほんものの牛乳を子どもたちに飲ませたい」という組合員の願いにこたえようと開発が始まったパルシステムの牛乳。酪農家が大切に育てた牛の乳を、しぼりたての風味に近いさらっとした味の牛乳でお届けしています。

牛乳の産直比率

100%

## point 1 低い殺菌温度

一般の殺菌方法と比べ、生乳の風味を損ないにくい低い温度で殺菌。

## point 2 産地パック

しぼった生乳を産地の工場で殺菌・パックし風味を損なわずにお届け。

## point 3 生乳本来の風味

しぼりたての生乳に近い、さらっとした飲みごちとほんのりとした甘み。

## “しぼりたての風味”を届けるために

さらっと甘い飲みごちで40年以上愛され続ける『こんせん72牛乳』。原料の生乳は、北海道根釧地区のものに限定。牧草を主体とした自給飼料で乳牛を育てる「草地形酪農」が盛んで、北海道でもトップクラスの乳質を誇る産地です。また、一般的な牛乳の殺菌温度(120～130℃、2～3秒間)と比べて低い温度(72℃、15秒間)で殺菌するHTST製法を採用。酪農家がしぼった生乳は生産地区内のよつ葉乳業根釧工場で殺菌・パック詰め。そのあと根釧地区から各セットセンターまで約1,400kmの距離を毎日トラックとフェリーで運ばれています。このように毎日、搾乳から製造までの管理体制には非常に手間やコストもかかりますが、“しぼりたての風味”を届けるための努力は惜しみません。



(左)HTST 殺菌機、(右)工場でのパック詰めの様子

### ■『こんせん72牛乳』が食卓に届くまで。

**こんせん72牛乳** 生乳の風味を生かすため、搾乳後、産地で殺菌、パック。  
(産地でパック) 2日後には直接、組合員宅へ。



消費期限は  
お届け後4日



**市販の牛乳** 北海道の牛乳(UHT製法)の一例。搾乳した生乳は、消費地近郊の工場まで運んでから殺菌、パック。  
(消費地でパックする場合) いったん店舗に出荷されたあと、購入した消費者のもとへ。

## 生産者と組合員で作り上げてきました

「ほんものの牛乳を食卓に」という思いで作り上げてきた『こんせん72牛乳』。現在の姿になるまでに数多くの試練を乗り越え、努力を積み重ねています。



## 生乳本来の風味を生かす パステライズド製法

一般の牛乳に多く見られる超高温殺菌法(120～130℃)は、ほぼすべての細菌を死滅させるため賞味期間を長くできます。一方、パルシステムの牛乳は“生乳本来の風味”をできるだけ損なわず仕上げるために、低い殺菌温度(65～75℃)でたんぱく質の熱変性が少ない「パステライズド製法」を採用しています。賞味期間は短くなりますが、しぼりたてのような風味とほんのりした甘みが特徴です。生菌数の少ない良質な生乳でなければ低い温度での殺菌は実現しません。生産者の手間と努力があって初めて作れる牛乳です。

## 組合員と生産者の つながりで育む産直牛乳

良質な生乳を生産するためには清潔な環境が不可欠。乳をしぼる前に乳房をきれいにふいたり、牛舎や搾乳機器を清掃したり、酪農場では毎日タオルを使用します。組合員の声をきっかけに1985年に始まった「タオルを贈る運動」は、2024年度で39回目となり、今回は組合員から96,188枚(回収78,674枚、オンラインカンパ形式での口数17,514枚)のタオルと4,627通のメッセージが寄せられました。組合員が産地を訪問し、目録とメッセージを生産者に贈呈。今年度は、応援する組合員の声をビデオメッセージでも届けました。生産者からは「みなさんに贈っていただいたタオルがおいしい牛乳をつくる一助になっています」という声が聞けました。

### ■殺菌方法の違い

|           |                                                     |                   |                                    |
|-----------|-----------------------------------------------------|-------------------|------------------------------------|
| パルシステムの牛乳 | LTLT製法<br>(Low Temperature Long Time)<br>低温長時間殺菌法   | 63～65℃<br>30分間    | いわて奥中山高原の低温殺菌牛乳                    |
|           | HTST製法<br>(High Temperature Short Time)<br>高温短時間殺菌法 | 72℃以上<br>15秒間     | ・こんせん72牛乳<br>・酪農家の牛乳<br>・酪農家の低脂肪牛乳 |
| 多くの市販品    | UHT製法<br>(Ultra High Temperature)<br>超高温殺菌法         | 120～130℃<br>2～3秒間 |                                    |

### ■タオルを贈る運動



『こんせん72牛乳』生産者への贈呈式の様子



『いわて奥中山高原の低温殺菌牛乳』贈呈式での目録授与の様子

## 産地一覧

**いわて奥中山高原の低温殺菌牛乳(岩手県)**  
工場から10km圏内の酪農家がしぼった生乳が原料。飼料は遺伝子組換え作物の混入を防ぐため分別生産流通管理。牧草、デントコーンなど粗飼料の約70%を自給しています。

**酪農家の低脂肪牛乳(埼玉県)**  
埼玉県内の指定酪農家の生乳を使用。生乳から乳脂肪分のみを遠心分離器で取り除いて作ります。希少なHTST製法の低脂肪牛乳で、低脂肪でも生乳本来の風味が味わえます。

**こんせん72牛乳(北海道)**  
産地は、北海道の根釧(根室・釧路)地区。一帯に広がる冷涼で自然豊かな根釧台地で、牛たちは良質な牧草をたくさん食べて育ちます。「72」は72℃15秒間殺菌の温度を意味します。

**酪農家の牛乳(茨城県・埼玉県)**  
産地は、茨城県、埼玉県。都市化がすすむ首都圏近郊にありながら、牧草などの自給飼料への挑戦や、堆肥の農地還元など、地域に根ざした酪農を営んでいます。

『こんせん72牛乳』の動画はこちら

### ■牛乳産地メーカー一覧表

| 商品名                  | 産地名                                     | メーカー名             | 商品名                         | 産地名              | メーカー名     |
|----------------------|-----------------------------------------|-------------------|-----------------------------|------------------|-----------|
| こんせん72牛乳<br>(HTST製法) | 【北海道】<br>JA 釧路太田、<br>JA くしろ丹頂、<br>JA 阿寒 | よつ葉乳業             | いわて奥中山高原の低温殺菌牛乳<br>(LTLT製法) | 【岩手県】<br>JA 新いわて | 奥中山高原農協乳業 |
| 酪農家の牛乳<br>(HTST製法)   | 【茨城県】<br>うまがつべ牛乳協議会<br>【埼玉県】<br>埼玉酪農協   | 雪印メグミルク<br>西武酪農乳業 | 酪農家の低脂肪牛乳<br>(HTST製法)       | 【埼玉県】<br>埼玉酪農協   | 西武酪農乳業    |





宮本養鶏の生産者  
宮本大史さん(千葉県)

自然が育てたいのちだからこそ

# 親鶏の健康を 第一に

産直たまごの産地では親鶏の健康を第一に考え、できるだけ自然に近い環境で育てようと、光と風が入る鶏舎で飼育。親鶏が食べたものが卵の質につながるからこそ、飼料の安全性にもこだわっています。

卵の産直比率

100%



point  
1

## 太陽の光と 自然の風が入る鶏舎

できるだけ自然に近い環境づくり。

point  
2

## 分別生産流通管理で 遺伝子組換え作物 混入を防ぐ

飼料のとうもろこしは分別管理し、  
収穫後農薬不使用のものに限定。

point  
3

## 冷蔵で鮮度保持

温度を一貫管理し、冷蔵で鮮度・  
品質を保ったままお届け。

## 光と風が入る鶏舎で飼育

一般的な養鶏場では「ウインドウレス鶏舎」で育てられているところもありますが、パルシステムの産直産地では太陽の光と自然の風が入る鶏舎を採用。とくに暑い夏場はこまめな管理が必要ですが、できるだけ自然に近い飼育環境をめざしています。さらに『平飼いたまご』の2商品は、親鶏が鶏舎内を自由に動きまわる「平飼い鶏舎」で飼育。より自然に近い環境でストレスを低減できる、アニマルウェルフェアを考慮した飼育方法です。



平飼い鶏舎のようす

### 【パルシステムの産地の鶏舎】



太陽の光と自然の風が入る鶏舎でケージ飼い  
太陽の光と自然の風が入る鶏舎で平飼い

### 【ウインドウレス鶏舎】



ウインドウレス鶏舎でケージ飼い  
(窓はないため換気扇で外の空気を送り込み、照明で昼夜の時間を人工的に調節)

※イラストはすべてイメージです

## 遺伝子組換え作物が混ざらないよう 分別生産流通管理した飼料が基本

飼料の40～60%を占めるとうもろこしは、遺伝子組換え作物が混ざらないように分別生産流通管理されたものに限定。さらに収穫後農薬不使用(ポストハーベストフリー)です。遺伝子組換え作物が世界的に広がるなか、確かな飼料で親鶏を健康に育てることを優先しています。国の食品表示基準「遺伝子組換えに関する任意表示制度」改正に合わせて2023年4月から表示を変更していますが、与えている飼料に変更はありません。



鶏の健康を考え、地域の食品副産物を活用した発酵飼料などさまざまな原料を配合

### ■パルシステムの『産直たまご』飼育基準比較表

| 商品名                     | 飼い方 | 飼料                   |                 |          |
|-------------------------|-----|----------------------|-----------------|----------|
|                         |     | 遺伝子組換え(GMO)          | 収穫後農薬(ポストハーベスト) | 国産飼料     |
| コア・フード国産飼料で未来へつなぐ平飼いたまご | 平飼い | すべて分別生産流通管理          | — ※1            | 90%以上    |
| コア・フード平飼いたまご            | 平飼い | すべて分別生産流通管理※2        | とうもろこしは不使用      | 10%以上    |
| 産直こめたまご(赤玉またはピンク玉)      | ケージ | とうもろこし・大豆かすは分別生産流通管理 | とうもろこしは不使用      | 20%以上(米) |
| 産直たまご(赤玉またはピンク玉)        | ケージ | とうもろこし・大豆かすは分別生産流通管理 | とうもろこしは不使用      | —        |
| 産直たまご(白玉)               | ケージ | とうもろこしは分別生産流通管理      | とうもろこしは不使用      | —        |

※1 穀物飼料はすべて国産のため対象外

※2 食品の製造工程で産出される未利用資源(おから、菜種かす、油かすなど)を除く

## コア・フード国産飼料で 未来へつなぐ平飼いたまご

- ①飼料の90%以上が国産
- ②光と風が入る鶏舎で平飼い
- ③予約登録制で安定した生産を支える

輸入飼料依存からの脱却をめざした、『コア・フード平飼いたまご』の3農場による取り組み。生産量が少なく国産化が難しかった飼料用とうもろこしを中心に、大豆、米など穀物飼料を100%国産化。飼料全体でも90%以上が国産と、自立した鶏卵生産を実現しています。



## コア・フード平飼いたまご

- ①光と風が入る鶏舎で平飼い
- ②飼料はすべて遺伝子組換え作物が混ざらないよう分別管理※
- ③飼料の10%以上が国産

自由に動きまわる平飼い鶏舎で飼育。飼料は主原料のとうもろこしを含め、遺伝子組換え作物が混入しないよう分別生産流通管理しています。また、おからや菜種かすなどの未利用資源を活用して自家配合飼料を作ったり、地域の飼料用米を活用したりして、国産飼料を10%以上配合しています。

※未利用資源を除く



## 産直こめたまご (赤玉またはピンク玉)

輸入穀物飼料の価格高騰をきっかけに、できるところから飼料を国内自給していこうと始まった取り組み。地域の耕作放棄地などで作られた飼料用米を、20%以上飼料に配合して育てています。



## 産直たまご (白玉、赤玉またはピンク玉)

光と風が入る、できるだけ自然に近い環境をめざした鶏舎で飼育。飼料の大半を占めるとうもろこしは、遺伝子組換え作物が混ざらないよう分別管理。「赤玉またはピンク玉」は、大豆かすも分別管理しています。



### ■産直たまごの産地と取り扱い商品

| 産地名                    | 県名    | 商品名                      |                  |                            |                      |                               |               |
|------------------------|-------|--------------------------|------------------|----------------------------|----------------------|-------------------------------|---------------|
|                        |       | コア・フード<br>国産飼料<br>平飼いたまご | コア・フード<br>平飼いたまご | 産直<br>こめたまご<br>(赤玉またはピンク玉) | 産直たまご<br>(赤玉またはピンク玉) | 産直たまご<br>少量パック<br>(赤玉またはピンク玉) | 産直たまご<br>(白玉) |
| ①常盤村養鶏農業協同組合           | 青森    |                          | ○                | ○                          | ○                    | ○                             | ○             |
| ②花兄園                   | 宮城    |                          |                  | ○                          | ○                    |                               | ○             |
| ③ギルド                   | 茨城・千葉 |                          | ○                |                            |                      |                               |               |
| ④JAやさと                 | 茨城    | ○                        | ○                | ○                          |                      |                               |               |
| ⑤あじたま販売                | 茨城    |                          |                  |                            | ○                    |                               |               |
| ⑥おひさまぼかぼか              | 栃木    |                          | ○                |                            |                      | ○                             |               |
| ⑦フレンズファーム              | 栃木    |                          | ○                |                            |                      |                               |               |
| ⑧花園たまや                 | 埼玉    |                          |                  |                            |                      |                               | ○             |
| ⑨アグリイノベーションズカンパニー(AIC) | 千葉    | ○                        | ○                |                            | ○                    |                               |               |
| ⑩匠瑤ジューシーセンター           | 千葉    |                          | ○                |                            | ○                    |                               |               |
| ⑪葉の花エッグ                | 千葉    |                          |                  |                            |                      |                               | ○             |
| ⑫宮本養鶏                  | 千葉    |                          |                  |                            |                      |                               | ○             |
| ⑬小川和男養鶏場               | 神奈川   |                          |                  |                            | ○                    |                               |               |
| ⑭澁谷養鶏場                 | 神奈川   |                          |                  |                            | ○                    |                               |               |
| ⑮神奈川中央養鶏農業協同組合         | 神奈川   |                          |                  | ○                          | ○                    | ○                             | ○             |
| ⑯黒富士農場                 | 山梨    |                          | ○                |                            |                      |                               |               |
| ⑰白州森と水の里センター           | 山梨    |                          | ○                |                            |                      |                               |               |
| ⑱峡南鶏友会                 | 山梨    |                          |                  |                            | ○                    |                               |               |
| ⑲伊豆鶏業                  | 静岡    | ○                        | ○                | ○                          |                      |                               |               |

※太字はパルシステム生産者・消費者協議会(▶P27)会員

## 徹底した 品質検査体制

各産地で自主的に品質検査を行っているほか、パルシステムの商品検査センターで月1回、定期的に検査。卵黄の色、卵殻強度、重量、ハウユニット\*を測定し、品質の維持・改善に役立てています。サルモネラ検査は年4回実施しています。

※たまごの鮮度を計測する単位

## 鮮度と品質を 最優先した温度管理

たまごの新鮮なおいしさを保つため、セットセンターからお届けまで、一貫した低温輸送を行っています。組合員には冷蔵ボックスに入れてお届けし、容器には通気性がよく衝撃から保護する「モウルドバック」を使用。バックは回収し、リサイクルを行っています。

### 黄身の色は 産直産地の「個性」です

『産直たまご』の黄身の色は産直産地によって違います。黄身の色はパブリカなど色素の濃い飼料を多く食べると濃くなり、飼料用米を多く食べると淡い黄色になります。栄養価やおいしさに影響はありません。





瀬戸内海の家島諸島のひとつ坊勢島。  
単一漁港当たりの船籍数は日本一を誇る

# 自然の恵みをいただくからこそ 持続的な 水産業の実現へ

水産資源の保全や回復などが課題となっている水産業。パルシステムでは2009年1月に「水産方針」を策定。海環境保全や食品の安全性確保などに取り組む水産業・漁業者と連携した“水産の産直”を行い、水産物の持続的な利用を実現する事業や運動に取り組んでいます。

※以下の4つの点を重視した、産直協定を結んでいます。

産直提携産地数

15産地

point 1 海の環境を保全し、  
水産資源を持続的に利用

point 2 日本の水産業再生に取り組む

point 3 水産物の安全性を追求

point 4 日本の魚食文化を大切にする

## 坊勢漁協との産直協定を締結

2024年9月21日、パルシステムの15番目の水産産直産地として兵庫県の「坊勢漁業協同組合」と産直提携を結びました。坊勢漁協のある坊勢島は、人口の約7割が漁業やその加工などに携わる水産業の島。生活を支えてくれる海を守るため、資源管理型の持続可能な水産業を重視しています。人工魚礁を海中に多数設置して藻場を作り、産卵場所として稚魚の育成を促すほか、稚魚の放流や海苔の養殖をするなど「つくり育てる漁業」に取り組んでいます。



産直協定締結で産地訪問  
など、地域理解がすすむ  
ことも期待されています

## 恩納村コープサンゴの森連絡会が 2度目の環境大臣賞を受賞

2024年11月9～10日、第43回全国豊かな海づくり大会が行われました。恩納村コープサンゴの森連絡会は、漁場・環境保全部門で環境大臣賞を受賞。サンゴの植え付けによる環境保全活動や、モズクを作り、食べて、ともに育む「里海づくり」が評価されました。2016年以来2度目の受賞です。



(写真中央)パルシステム連合会・  
波澤温之代表理事専務理事

## 茨城県・涸沼で、石倉カゴを使った うなぎのモニタリングをスタート

2013年、ニホンウナギが絶滅危惧種に指定されたことを受け、パルシステムは鹿児島県の産直産地「大隅地区養まん漁業協同組合」らとともに「大隅うなぎ資源回復協議会」を設立。それ以来、石倉カゴ（網かごに石を詰めて作るうなぎの増殖礁）の設置による生息環境の改善や、モニタリングによるうなぎの生態調査を行ってきました。

2024年にはさらにその範囲を拡大し、茨城県涸沼でのモニタリング調査を開始。9月19日に行われた記念式典には、茨城県の行政関係者や地元の漁協、自然保護団体、産直提携産地の生産者らが参加しました。

うなぎの生態調査にとどまらず、涸沼の豊かな水辺環境復活の足がかりになると期待されています。2025年からは組合員参加型のモニタリング調査も開始予定です。



(写真上)記念式典のようす  
(写真下)石倉カゴを作り、設置しているようす



## 産地一覧

パルシステムのみで  
累計 17,308本の  
サンゴを植え付け

※サンゴの白化現象の影響  
から、2024年度は新規の  
植え付けを行っていません

※※の付いている産地はパルシステム生産者・  
消費者協議会(▶P27)賛助会員です。  
※協議会についてはP30～31をご覧ください。

ふなどまり  
船泊漁業協同組合(北海道)  
ロシアと国境を接し、日本最北端  
の有人離島・礼文島の海で操業。  
ウニ、ほっけなどを供給する。

『礼文島船泊の産直・  
旬の真ほっけ開き』



のつけ  
野付漁業協同組合(北海道)※

特大のほたてや秋鮭がとれる野付の海。稚  
貝・稚魚の放流による資源管理型漁業に加  
え、森から海を再生しようと、組合員とともに  
植樹活動に取り組む。

●「海を守るふーどの森づくり  
野付植樹協議会」を設立

『コア・フード野付の産直ほたて』



えりも漁業協同組合(北海道)※  
昆布や鮭の漁獲にも影響していた  
山の砂漠化対策として60年以上前  
から植樹に取り組む。

『北海道えりも産  
日高昆布』



おんな 恩納村漁業協同組合(沖縄県)※

恩納村沿岸のサンゴ礁の海で育てられる恩  
納もずく。海環境保全活動やサンゴの養  
殖・植え付けなどの「里海保全」を実施し、も  
ずく商品の売り上げの一部を活用している。

●「恩納村美ら海産直協議会」を設立

『恩納村の太もずく』



ぼう 坊勢漁業協同組合(兵庫県)

たい、たこ、しらすなど80種以上の魚  
を水揚げする兵庫県有数の漁場、坊  
勢島の漁協。人口魚礁の設置による  
海環境改善や、稚魚の放流と養殖  
による「つくり育てる漁業」に取り組む。



『瀬戸内海坊勢の産直・  
真だこやわらか煮』

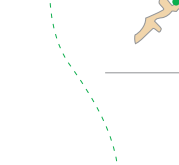
とみ 富栄海運(有)

シーボーン昭徳(佐賀県)※



『昭徳の産直九州産  
天日干しあじひらき』

まき網船団を自社で持ち、目  
利きが選んだ良質なさばや  
さわら、あじなどを自社工場  
で加工。小型の魚はとりす  
ぎないように漁場を変えるな  
ど、資源保護にも取り組む。



『昭徳の産直九州産  
天日干しあじひらき』

徳島県鳴門わかめ協同組合(徳島県)

鳴門海峡の激しい潮流にもまれて育っ  
たわかめを取り扱う。地元農家とともに、  
従来廃棄していたわかめの根の部位を  
肥料化する研究も進めている。

『鳴門産カットわかめ』



お 邑久町漁業協同組合(岡山県)

岡山県南部の虫明湾で1950年代  
からかき養殖に取り組む。県や地  
元の団体とともに、浅瀬の生きもの  
のエサやすみかとなる海草アマモ  
場の造成を続けている。

『邑久町漁協のかきで  
つくった大きなかきフライ』



(有)カネモ(愛媛県)※

松山市沖の瀬戸内海で漁獲したしらすを、港に  
隣接した自社の加工場で素早く釜あげ。網の目  
を大きくして漁獲を制限したり、漂流ごみを回収  
しながらの操業、浜辺の清掃活動なども行う。

『旬・漁師がつくった釜あげしらす』



お 大隅地区養まん漁業協同組合(鹿児島県)※

養殖から加工、出荷までを一貫して管理。2013年には  
パルシステムとともに資源回復への取り組みをスタート。  
賦課金とポイントカンパによりモニタリング、広報などさ  
まざまな取り組みを行う。

●「大隅うなぎ資源回復協議会」を設立

『大隅産うなぎ蒲焼』



パルシステムのみで  
累計 12,990本を  
植樹  
(2024年度は600本)

釧路市漁業協同組合(北海道)

さんまや希少なししゃもを取り扱う。し  
しゃもは、産卵のために北海道のなか  
でも釧路・十勝地区の河川にのみ遡上  
する。このししゃもを使って産卵、ふ化  
させ、稚魚を放流する事業に取り組む。

『コア・フード釧路の天日干しししゃも(オス)』



宮城県漁業協同組合志津川支所(宮城県)

東日本大震災によって海の養殖設備  
や沿岸の加工場、備蓄倉庫などは壊  
滅的な被害を受けたが、豊かな海の  
恵みを取り戻すため、海と町を取り囲  
む山林の整備や植樹活動を強化。

『産直カットわかめ』



千葉県漁業協同組合連合会(千葉県)

関東近郊で初めての水産産直産地。東京湾  
に残る干潟とあさりに代表される「江戸前  
の海」の自然環境と水産資源を、将来にわたって  
継続的に享受できる仕組みづくりをめざす。



『江戸前あさり』

う 魚津漁業協同組合(富山県)

環境負荷の少ない定置網が中心で、ほたるいかや白え  
び、いなだなどを取り扱う。加工場を持ち、日本の水産  
業の持続再生のモデルをめざしている。

『ほたるいか醤油漬け』



資源回復活動に  
累計約 7,406万円を  
活用

※賦課金とポイントカンパの合計  
(2024年度は約517万円)



2017年9月に完成した群馬県の  
パルシステム板倉食品加工センター

加工品にも産直で培った  
信頼関係を

## 産地と二人三脚の 商品づくり

産直を通じて培った信頼関係のもと、パルシステムでは産直原料を使った商品開発を積極的に行っています。食料自給率の向上やフードロスの削減など、多方面から持続可能な社会システムの構築へとつながる取り組みです。

産直原料を使った加工品

699点



オルタートレード・フィリピン社の  
生産者 ジョンレイさん(フィリピン)

支え合い、ともにくらしを育む

## 海を越えて 深まる産直

フェアトレードとは、適正な価格で継続的に取引しする公平・公正な貿易のこと。パルシステムは産直四原則（詳しくはP5）に基づき、国際産直に取り組んでいます。国内の産直と同様、産地とともに支え合う関係を築いています。

産直提携産地数

12産地

point  
1

海外産地の商品も  
「安全・安心」  
が基本

point  
2

環境保全に配慮

生産者との互惠をめざします。

point  
3

交流会、  
公開確認会の開催

国内と同様、  
ローカルズムを大事にします。

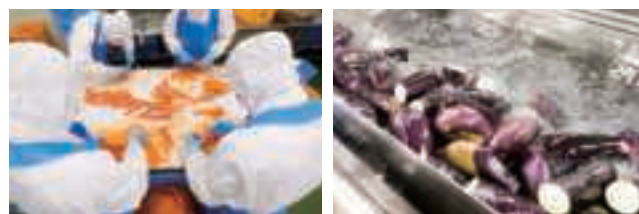
### 手軽さだけではない パルシステムの「お料理セット」

お料理セットは、カット済み野菜、肉や魚、たれ、レシピがすべてひとつになった商品。共働き世帯の増加や家での食事が増えたコロナ禍以降、食の選択肢として定番化してきました。パルシステムでは、お料理セットを通じて料理を作る楽しみや家族とのコミュニケーション、初めての食材との出会いなど「手軽さだけではない価値」を届けたいと考えています。2017年には、お料理セット専用の自社工場を設立。パルシステムオリジナルの調味料や加工品を使った商品開発に力を入れています。



『トマト風味の  
ドライカレーセット』

みじん切りなど手間のかかる下  
ごしらえ不要で簡単に作れる、  
と好評の商品。パルシステムの  
CMでも紹介されました。



完全に機械化せず一部人の力も借りることで、  
キズがある野菜や形や大きさがふぞろいな野菜も加工できます。

食の「安心」にもこだわり、材料の野菜や肉はすべて国産。また、産直の青果や畜産商品を積極的に使用しています。産直原料の一部には、青果として出荷できない規格外の野菜や、豊作で余ってしまった余剰野菜も有効活用。フードロスの削減になるだけでなく、新しい消費を生み出すことが産地応援にもつながっています。

### 小麦の国産自給率向上に挑戦

日本の小麦自給率は約18%。8割以上を輸入に頼っている状態です。そのなかでもパルシステムは、国産小麦よりも一歩進んだ産直産地で栽培した小麦を使用した商品の開発もすすめてきました。産直小麦を使った商品はパンをはじめ、うどんやラーメン、カステラ、ドーナツなど多岐にわたります。これも、産直産地と長年築いてきた信頼関係の賜物です。また、2024年にはパルシステムのパン工場「(株)パルブレッド」でパン用小麦の使用率84%超を達成。新商品の開発のみならず、既存商品もさらなる国産化、産直化をすすめています。



『産直小麦ごまあんぱん』

組合員開発商品。パン生地的小麦だけでなく、  
あんの小豆も産直原料です。また、砂糖と塩  
にもパルシステムの『花見糖』と『海はいのち』  
を使っている、パルシステムと産地、組合員の  
つながりが産んだ商品です。

『産直小麦の冷凍うどん』

小麦粉、塩、水のみで作りました。小麦粉の原料小麦には、北海道の産直産地「JAおとふけ」の「きたほなみ」を使用。冷凍でもわかる、もちもち食感と小麦の味わいが自慢です。



タイ



バンラート農協

1999年より、化学合成農業を使わずに育てた『エコ・バナナ(ホムトン)』の供給を開始し、2003年にパルシステムとともに「産直協議会」を設立。2004年10月には、現地公開確認会を開催。2020～2022年は毎年オンライン交流会を開催。

トゥンカワット農園経営農民会

度重なる干ばつの被害を克服するため、日本から農業者を招いて生産技術学習会を開催するほか、灌漑設備の導入などにも取り組む。

ジェイフレッシュセイカ社(JFS)  
バナナの輸入会社バシフィック・トレード・ジャパン(PTJ)と提携するタイの企業。現地でバナナの栽培や生産者の管理を行う。

『エコ・バナナ  
(ホムトン)』



### 産地一覧

フィリピン



オルタートレード・  
フィリピン社(ATPI)

ネグロス島で1980年代半ばに発生した飢餓をきっかけに、生産者の自立を支援するため現地に設立された会社。現在、生産者はネグロス島、ミンダオ島など4つの島に広がっている。輸入元は(株)オルタートレード・ジャパン(ATJ)。90年より『エコ・バナナ(バランゴン)』の供給を開始。2005年と09年、16年に公開確認会を開催。

『エコ・バナナ  
(バランゴン)』



インドネシア



オルター・トレード・  
インドネシア社(ATINA)

輸入元(株)オルター・トレード・ジャパン(ATJ)の現地法人。ジャワ島東部、スラウェシ島南部でブラックタイガーの粗放養殖を営む生産者との関係づくりを進め、原料の買い付けから凍結加工までを一貫体制で行い、輸出している。2008年に公開確認会を開催。

『エコシュリンプ』



メキシコ



カラボ社

産地は、メキシコのミチョワン州のウルアパン市周辺。標高が1,300～2,000m以上と高く、昼夜の寒暖差が大きいアボカド栽培に適した地域。カラボ社が生産者と契約を結び、栽培の確認を行っている。

『エコ・アボカド』



エクアドル



セリアマリア社

農園はエクアドル南東部のエル・オロ県に位置する。バナナの葉や茎など農園内で発生した残さを自家堆肥化して圃場に還元しており、資源循環型の栽培を行っている。国際フェアトレード認証を取得し、従業員が働く環境も大切にしている。

『有機バナナ』



コロンビア



サマリア社

一年中温暖な気候とカリブ海から吹く風、照りつける太陽、山から流れる清らかな雪解け水など、バナナ栽培に適した環境に恵まれた地域。バナナ園の周囲に森をつくり、野生動物の通り道をつくるなど、自然環境との調和も重視している。2021年にオンライン交流会を開催。

『有機バナナ』



テケンダマ社

自社農園で栽培したアブラヤシからパーム油を抽出し、せっけん原料やパンで使用するショートニングなどを製造。新たな森林を切り崩すことなく農地を再利用しながらパーム農園開発を進める。

『地球の未来にまじめる  
ボディソープ』



スペイン



オレオエステパ社

2015年9月に産直協定を締結。スペイン南部のアンダルシア州の生産者団体で、約5万㎡のオリーブ畑を有し、農業をなるべく使用しない栽培方法と、トレース可能な製造システムを導入するなど、環境保全や品質管理が行き届いたオリーブオイルを生産している。

『産地限定エキストラバージン  
オリーブオイル』



オーストラリア



カンガルー・アイランド・  
ピュア・グレイン社(KIPG)

『圧搾一番しぼり菜種油』の原料となっている、貴重な非遺伝子組換え菜種は、カンガルー島で栽培されている。KIPGは現地の生産者団体。カンガルー島のある南オーストラリア州政府は、当面、遺伝子組換え菜種の栽培禁止を貫く方針。

『圧搾一番しぼり  
菜種油』



ニュージーランド



ゼスプリ

キウイ生産者が出資して設立した企業。現在、主に「グリーンキウイ」と「サンゴールドキウイ」を供給している。有機栽培を行っている生産者もあり、現地で有機認証を取得している。環境に配慮した生産に積極的に取り組む。2021年にオンライン交流会を開催。

『NZ産有機  
グリーンキウイ』



【データで知る産直商品】森林産直



「木」の価値を見直し、  
森林資源を守る

# 生協初の 「森の産直」

パルシステムでは、「木」の価値を見直すとともに、持続可能な森づくりに貢献するため、生協初の「森の産直」に挑戦しています。2012年に設置された森林プロジェクトでの協議を経て2団体と産直提携。日本の森林資源を保全し、持続可能な森づくりに貢献していくことなどを目的とした「森林・林業方針」を制定し、商品開発にも取り組んでいます。

産直提携産地数

2産地

point  
1

森林環境の保全・再生の  
取り組みを進める

point  
2

日本の林業を再生する  
取り組みを支援

point  
3

森林資源の持続性に  
寄与する木材利用を拡大

point  
4

森林、林業にかかわる  
教育活動を行う

## 南都留森林組合（山梨県）

### 未来につながる森づくり

「森林所有者が長期的・持続的な森林経営を行える基盤のための森づくり」を長期ビジョンとし、荒れた人工林の再生、放置された里山林の整備、森林環境教育やグリーンツーリズムなどの森林空間活用を複合的に組み合わせながら推進しています。

■南都留森林組合 商品例  
『めぐる森の  
しいたけ栽培セット』

産直産地「南都留森林組合」の広葉樹を使用した、しいたけ栽培セット。しいたけの菌種の植え付けも、山梨県内のメーカーより行っています。高齢化した里山の広葉樹林を伐採・利用することによって里山を若返らせる取り組みを進めています。



| 商品一覧           |     |
|----------------|-----|
| めぐる森のプレート小     | 2枚組 |
| めぐる森のしいたけ栽培セット |     |

## 高津川流域森林保全協議会（島根県）

### 「持続可能な森づくりに私たちができること」

日本一の清流と呼ばれる高津川流域の自治体や経済団体（森林組合、漁協、JA）と協力し、持続可能な森づくりに取り組んでいます。流域の資源を素材とした商品の販路が広がることで、組合員とともに流域住民や地域で働く人々が健康で安全な暮らしに貢献し、豊かで持続可能な地域社会を築くことができます。パルシステムでは高津川産の鮎を使った『島根県高津川天然あゆ甘露煮（無選別）』や、近隣産地の商品である『匹見産花わさび醤油漬け』などを扱っています。

■高津川関連 商品例  
『島根県高津川天然あゆ  
甘露煮（無選別） 120g』

島根県の清流高津川で育った天然あゆを炭火焼きし、甘めにじっくりと骨までやわらかく煮込んでいます。



| 商品一覧                |              |
|---------------------|--------------|
| 島根県高津川天然あゆ甘露煮（無選別）  | : 食楽広場掲載     |
| 匹見産花わさび醤油漬け         | : 食楽広場掲載     |
| 島根県美都<br>いちご味くらべセット | : WEB限定ギフト掲載 |

## 産地では、人と森と川の繋がりを学びました。

「産地へ行こう。」ツアー「島根県・清流日本一の高津川流域の森と川を感じる旅」を実施。産地の現状や取り組みについて学び、川に入って生きもの観察を行いました。森の勉強会では、林、森、杜、山の違いや木々の成長や種類、手入れの状況など説明を受けながらの森林散策をしました。ほかにも、地元のみなさんが守り続けている津和野町の石見神楽の観賞や、破碎された木片を使ったアクセサリー作りのワークショップなど、森や川、人との繋がりを五感で感じることができるツアーとなりました。



組合員家族と高津川の清流で

## 【産地とともに歩む未来】生消協



生産者と消費者がともに活動

# 「パルシステム生産者・消費者協議会」

パルシステム生産者・消費者協議会（通称：生消協）は、パルシステムに農畜産物を供給する生産者と消費者、生協が対等な立場でともに協議し、活動する場です。生産者と消費者双方の努力によって産直に関わる課題や問題を解決し、その活動を通じて、同じ「生活者」として連帯の強化をめざしています。消費者とともに環境に配慮した農業を推進し、より安全・安心でおいしい食べ物を作るために活動していきます。

## 生産者と消費者の 有機的連携を進める 食と農の取り組み

生消協は1989年に発足し、現在171産地（ほかに賛助会員9産地）と11の生協関連団体で構成。3つの地域（東北・北海道、関東・中部、関西・以西）に分かれたブロック活動と、5つの専門部会（米・野菜・果樹・畜産・鶏卵）を柱に、交流会や学習会を通じて、生産者と消費者、生産者間での相互理解を深めています。

### ■2024年の主な活動

| 日程      | 企画・会議名               | 日程       | 企画・会議名               |
|---------|----------------------|----------|----------------------|
| 1/10    | 第31回農法研究会・賀詞交歓会      | 6/26     | 米部会 有機米研修会           |
| 1/11    | 合同ブロック会議             | 7/3～4    | 関東・中部ブロック会議          |
| 1/18～19 | 第1回オーガニック技術交流会議      | 7/10～11  | 幹事会合宿                |
| 2/2     | 第1回幹事会               | 7/18～19  | 第2回関西・以西ブロック若手生産者交流会 |
| 2/29    | 果樹部会 2024年 果樹サミット    | 8/28～29  | 第2回次世代リーダー研修         |
| 3/6     | 第35回通常総会・フォーラム       | 9/11～12  | 青年農業者交流会             |
| 3/7     | 会員生協別交流会             | 10/2     | 第13回青果フォーラム          |
| 3/19    | 食料・農業・農村基本法改正に伴う院内集会 | 10/17～18 | 第3回次世代リーダー研修         |
| 4/11    | 第2回幹事会               | 10/31    | 生産者・消費者合同会議          |
| 5/15～16 | 第1回次世代リーダー研修         | 11/7～8   | 第23回女性農業者交流会         |
| 5/31    | 消費者運営委員会フィールドワーク     | 11/21    | 第3回幹事会               |
| 6/18～19 | 東北・北海道ブロック会議         | 11/27～28 | 第4回次世代リーダー研修         |

### 女性農業者交流会

2024年は、千葉県産直産地「村悟空」で開催。また、今年度より会の名称を「女性農業者交流会」へ変更しました。第23回となる今回は、19団体55名、生消協消費者幹事、パルシステム関係者を含む総勢73名が参加。1日目の交流会では、千葉県内参加8会員および村悟空女性部「たんぼclub」の報告会、グループに分かれての意見交換を実施しました。2日目は村悟空関係者のキャベツ圃場や施設を視察。ほかにも、たんぼclubの組合員交流活動について理解を深めました。

第23回女性農業者交流会～  
「明日へつなぐ井戸端会議」千葉編～



### 次世代リーダー研修

生消協会員産地やパルシステムの次世代を担う人材の育成を目的として、2016年から毎年開催している生消協独自の研修プログラムです。これまで延べ400名を超える産地関係者・パルシステム役職員が参加。農畜産業に関わる先進的な取り組みや課題を共に学び、議論し、相互理解を深め、共に未来をつくる関係性を構築してきました。2024年度は、事業や活動についての世代間継承や組織の魅力づくりについて、大牧農場視察やゲストスピーカーとの意見交換などを交えながら知見を深めました。

次世代リーダー研修での  
大牧農場視察



### オーガニック技術交流会議

2025年2月26日、昨年に引き続きパルシステム連合会と生消協野菜部会の共催で第2回オーガニック技術交流会議を開催しました。当日は生消協会員のみならず、パルシステムに有機農産物を出荷する農業者27団体57名、パルシステム関係者を含む総勢83名が参加。これまで実践してきた総合的な有機農法に関する活発な技術交流が行われたほか、生消協野菜部会に新設する有機野菜分科会にて継続した活動を確認するなど、今後の有機農業の拡大と発展に向けた会議となりました。



第2回オーガニック技術交流会議のようす

### パルシステム生産者・消費者協議会とは

パルシステム生産者・消費者協議会は、生産者と消費者と生協職員が対等の立場で交流をはかるといふパルシステムの組織風土をつくり続けてきました。パルシステム協力会（パルシステム連合会の取引先によって自主的に組織された会）とも運動や生産の場で連携し、活動を行っています。物理的な距離の近さより関係性が近いものを消費する『知産知消』という言葉があります。組合員は産地へ行き現場を知る。生産者は組合員の食卓に想いをはせる。生協職員は生・消をつなぐ媒体（メディア）になる。パルシステムがこれまで築き上げてきた歴史を大切にし、昨今の困難な生産現場とともに超えていきたいと思います。



生消協代表幹事 小川 保さん（JAつくば市谷田部産直部会）



「ぐんまオーガニックフェスタ」には「野菜くらぶ」などおなじみの産地も多数出展。交流も活発でした

# 「つくる」と「食べる」の距離を縮める パルシステムの 産地交流

パルシステムの産直には、多くの物語が詰まっています。それは商品のやり取りにとどまらず、生産者と組合員一人ひとりの交流を通して、長い年月をかけ、紡いできた貴重な財産。草の根的なたくさんの交流活動が、現在の「生産者との顔の見える関係」を築いています。パルシステムでは「日本の食と農を守る」という共通理念のもと、産地での交流会や公開確認会を通して、相互の理解と信頼を深めています。

## パルシステムの産地交流 2024年度は23,876人が参加

パルシステムの産直は、人と人の交流を礎に発展してきました。組合員は産地を訪れ、さまざまな体験を通じて生産物や商品に込められた想いを実感します。一方、生産者にとって組合員の生の声を聞くことは、現場に求められている課題を共有するきっかけに。日々の生産活動への大きな励みにもなっています。

2024年度は、交流活動も活発に行われました。コア・フードキャラバン、ぐんまオーガニックフェスタ、各会員生協産地交流ツアーや「産地へ行こう。」ツアーなどが実地開催で行われ、多くの組合員が参加しました。



援農ツアーで果物の収穫を手伝いました



稲刈り体験のようす

## 約1万人が来場。 「ぐんまオーガニックフェスタ」

パルシステム連合会は2024年12月7日、高崎城址公園「芝生広場」で群馬県と共催で「ぐんまオーガニックフェスタ」を開催。約1万人が来場しました。イベントには、パルシステムの提携産地21団体が参加。県内外から多くの組合員が参加して有機栽培やコア・フード畜産の生産者と交流したほか、試食やトークセッション、買い物と盛り上がりました。

ステージには生産者や農業を学ぶ学生が登壇し、環境保全型農業や群馬県の有機農業のこれからについてトークセッションが行われ、農林水産省農産局農業環境対策課長や群馬県農政部職員と有機農業の今後について熱い想いや議論を交わしました。

また、会場のようすをライブ配信するなど来場でできなかった組合員にも楽しんでもらえるイベントとなりました。

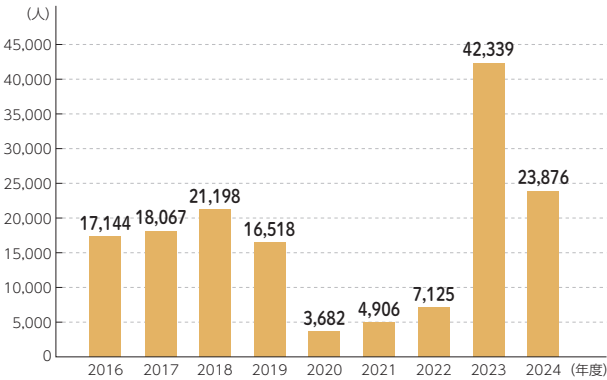


県内外から多くの人が訪れ活気に満ちていました



トークセッションのようす

### 交流企画参加人数の推移



### 組織別参加人数合計：23,876人

| 組織名          | 参加人数(人) |
|--------------|---------|
| パルシステム東京     | 726     |
| パルシステム神奈川    | 1,259   |
| パルシステム千葉     | 1,273   |
| パルシステム埼玉     | 1,061   |
| パルシステム茨城 栃木  | 2,237   |
| パルシステム山梨 長野  | 348     |
| パルシステム群馬     | 292     |
| パルシステム福島     | 932     |
| パルシステム静岡     | 130     |
| パルシステム新潟ときめき | 254     |
| パルシステム連合会    | 15,364  |
| 合計           | 23,876  |

※会員生協申告分



JAつくば市谷田部(茨城県)で開催された公開確認会のようす

# 組合員、生産者、双方の つながりを深める 公開確認会

「公開確認会」は農産物の栽培方法や安全性への取り組みを組合員が直接確認する、パルシステム独自の取り組み。食に関わる安全性や生産者の努力を、組合員自身が確かめます。生産者と組合員がより深く理解し合い、課題を共有し改善につなげる、発展的な交流のシステムです。

累計開催数  
**162回**

## 「自分の目で確かめる」公開確認会

会員生協の組合員の代表者やほかの産地の生産者、地域の農業専門家などが産地に赴き、栽培記録や生産基準などから生産者の取り組みを客観的に評価します。公開確認会がスタートしたのは1999年。農林水産省の認可団体による「第三者認証」が脚光を浴びるなか、パルシステムがこだわったのが、組合員自身が確認する「二者認証」でした。その始まりは「自分の口に入るものはまず自分の目で確かめたい」という組合員の要望から。栽培の記録や書類の整備、栽培のこだわりなど、生産者の日ごろの努力を組合員自身が確認することで、信頼関係をさらに深め、産地のレベルアップにつながっています。これまでの開催数は累計162回に上っています。

## 監査人として農畜産業への 理解を深める公開確認会学習会

「公開確認会」に監査人として参加を希望する組合員は、事前にパルシステムが主催する「公開確認会学習会」を修了する必要があります。組合員が監査人となるわけですが、産地の栽培記録や出荷に関わるさまざまな帳票類、農産物に関わる一般的な状況など、初めてでは戸惑うばかりです。学習会では専門的な講師や生産者を招いて話を聞き、ワークショップも行いながら産地の努力や農業の実態への理解を深めています。すでに累計で5,382人が修了し監査人としての心得を学んできました。さらに年に1度全国の生産者や組合員が一堂に会し、内容を共有する「公開確認会報告会」も行っています。

### 公開確認会基礎学習会から公開確認会までの流れ(一例)

#### 【公開確認会基礎学習会】

産直方針や書類の種類、監査の心がまえなど、監査の基礎を学ぶ。



#### 【公開確認会】

《視察》  
ほ場や出荷場などを見学して、記録の確認や聞き取り。

《報告》  
公開確認会の趣旨・監査方法の説明、生産者によるプレゼンテーション、質疑応答。

《まとめ》  
監査人から監査結果の報告、評価や提案が所見として出され、産地にフィードバック。

#### 【公開確認会事前学習会】

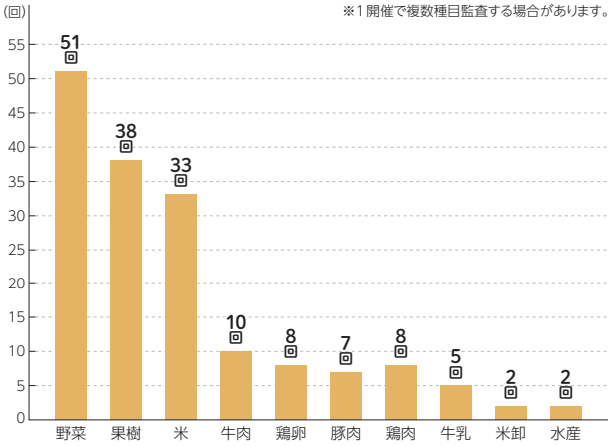
産地で実際に使われている帳票類を用いての学習。監査人は必ず参加。



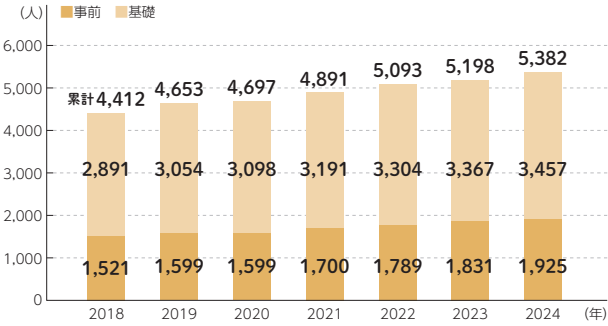
### 2024年公開確認会実施一覧

| 日程       | 開催産地          | 担当生協  | 参加人数(人) |
|----------|---------------|-------|---------|
| 2/22     | 和郷園           | 千葉    | 76      |
| 7/6～7    | JAいすみ         | 東京    | 66      |
| 7/17     | サン・ファーム       | 山梨 長野 | 78      |
| 10/28～29 | 鳥越ネットワーク      | 神奈川   | 77      |
| 12/5     | JAつくば市谷田部産直部会 | 茨城 栃木 | 122     |
| 12/12    | 沃土会           | 埼玉    | 73      |
| 合計       |               |       | 492     |

### 公開確認会開催数(1999～2024年度種目別累計)



### 監査人数の推移



※「初級監査人講習会」「中級監査人講習会」は、それぞれ「基礎学習会」「事前学習会」に名称変更しました。

# 協議会を通じて全国に広がる交流・地域づくりの輪

## 地域と農水産業の活性化をめざす協議会

パルシステムと産直産地、地域が連携し、資源循環型農業や環境保全型農業の推進、交流会、商品開発などを行っています。

### ①海を守るふーどの森づくり野付植樹協議会

2001年6月設立

**参加団体:** 野付漁協、北海道漁連、パルシステム連合会

**目的:** パルシステムのコア・フードの産地である野付で、森を豊かにするための植樹活動を行い、地球環境と生命の源である海を守り豊かにすることを目的とする。ほたて・秋鮭など水産物の供給。

### ②藤崎町(青森県)食料と農業に関する基本協定

2001年5月設立

**参加団体:** 藤崎町、JA津軽みらい、常盤村養鶏、パルシステム東京、パルシステム連合会

**目的:** 「食料と農業に関する基本協定」のもとに、生協組合員参加企画・商品事業および地域活性化事業の取り組みをすすめる。

### ③パルシステム・秋田南部圏 食と農推進協議会

2006年6月設立

**参加団体:** パルシステム千葉、パルシステム東京、JAこまち、JA秋田ふるさと、雄勝りんご生産同志会、湯沢市、横手市、羽後町、パルシステム連合会

**目的:** これまでの産直交流事業の歴史のうえに、さらなる安全で安心な農産物の産直拡大とグリーンツーリズムなど新たな人的交流事業をすすめる、併せて新しい食料・農業・農村基本法の成立を受け、生産者・消費者が一体となって環境保全型・資源循環型社会の構築をめざし、美しい自然環境のなかで、心豊かな生活空間を創造することを目的とする。

### ④花巻食と農の推進協議会

2008年9月設立

**参加団体:** JAいわて花巻、花巻市、パルシステム神奈川、パルシステム連合会

**目的:** 安全で安心な農産物産直事業の拡大強化とグリーンツーリズムなどの新たな人的交流事業を進め、生産者と消費者が一体となって、資源循環型・環境保全型社会の構築をめざし、心豊かで快適な生活空間を創造する。

### ⑤宮城みどりの食と農の推進協議会

2009年8月設立

**参加団体:** JA新みやぎ、大崎市、美里町、涌谷町、パルシステム神奈川、パルシステム連合会

**目的:** 安全で安心な農産物産直事業の拡大強化とグリーンツーリズムなどの新たな人的交流事業を進め、生産者と消費者が一体となって、資源循環型・環境保全型社会の構築をめざし、心豊かで快適な生活空間を創造する。

### ⑥庄内産直ネットワーク

2003年3月設立

**参加団体:** 庄内協同ファーム、JA庄内たがわ 賛助会員: パルシステム埼玉、パルシステム連合会

**目的:** 山形県庄内地域において、産直交流活動を担い、持続可能な環境保全を志向する地域農業を消費者とともに再構築することを目的とする。

### ⑦食料農業推進協議会

2000年5月設立

**参加団体:** 阿賀野市、JA新潟かがやき、パルシステム連合会

**目的:** 食品の生産・加工・流通・消費・廃棄までの安全・安心のフードシステムの構築、資源循環・環境保全型農業実践、都市住民と農村住民の人的交流活動のいっそうの推進、グリーンツーリズムなど田園生活体制の創造を目的とする。

### ⑧上越市(新潟県)食料と農業に関する基本協定

2001年2月設立

**参加団体:** 上越市、JAえちご上越、(株)よしかわ杜氏の郷、パルシステム東京、パルシステム連合会

**目的:** 安全で安心な農産物の産直拡大強化と、都市と農村との人的交流事業をすすめる、生産者、消費者が一体となつての資源循環型・環境保全型社会の構築をめざす。また、豊かな自然環境のなか、心も豊かで快適な生活空間を創造することを目的とする。

### ⑨群馬産直協議会『めぐるんま』

2016年11月設立

**参加団体:** (株)野菜くらぶ、くらぶ草の会、利根川生産者グループ、パルシステム群馬、パルシステム連合会

**目的:** 交流や地産地消の取り組みを通じ、つながりを広げ、群馬の魅力を深めることで、持続可能な農業の発展、生産者の健康、活気ある地域づくりをめざす。

### ⑩埼玉産直協議会『農・彩・土』

2011年7月設立

**参加団体:** 沃土会、南埼玉産直ネットワーク、パルシステム埼玉、パルシステム連合会

**目的:** 生産者と消費者の交流を通じて地産地消と県内農業の発展、環境保全を目的とする。

### ⑪JAつくば市谷田部 食と緑の交流事業推進協議会

2002年4月設立

**参加団体:** JAつくば市谷田部、パルシステム茨城 栃木、パルシステム連合会

**目的:** 食料の自給と安定、持続可能な農業をめざし、「地域資源循環型農業モデルづくり」や都市と農村の新たな交流をすすめることを目的とする。

### ⑫旭市(千葉県)食料と農水産業に関する基本協定

2006年4月設立

**参加団体:** 旭市、JAちばみどり、パルシステム東京、パルシステム千葉

**目的:** 安全で安心な農産物の産直拡大および、交流推進・地域社会活性化を目的とする。

### ⑬小田原 食と緑の交流推進協議会

2002年4月設立

**参加団体:** 小田原産直組合、パルシステム神奈川、パルシステム連合会

**目的:** 生産者と消費者で「地産地消」を推しすすめ、持続可能な社会づくりに向けた地域活性化の拠点づくりをめざす。



「海を守るふーどの森づくり野付植樹協議会」による浜の母さん料理教室のようす



「パルシステム・秋田南部圏 食と農推進協議会」での組合員交流のようす

## 複数の産地・業種が協力して地域の活性化をめざす協議会

農畜産、食品加工など、農商工の連携で交流・商品開発を推進しています。

### ①紀伊半島 食と緑の交流協議会

2002年7月設立

**参加団体:** さんまる柑橘同志会(和歌山県)、みえぎょれん販売、JA全農みえ、(農)御浜天地(以上、三重県)、紀ノ川農業協同組合(和歌山県)、大紀コープファーム(奈良県)、京都農民連(京都府)

**目的:** 同地域に都市住民を招いての交流や農作業体験(グリーンツーリズム)等を通じて、生産者と消費者の本当の意味での信頼関係のもとで、消費者の求める安心・安全な食の提供を行える提携関係を築くことをめざす。

## 食料自給率向上、産直加工品に取り組む協議会

食料自給率向上を目的に、地域の産物を生かした産直原料の加工品開発を進めています。

### ①北海道十勝食料自給推進協議会

2010年12月設立

**参加団体:** 音更町、JAおとふけ、JA木野、(有)大牧農場、よつ葉乳業(株)、横山製粉(株)、パルシステム連合会

**目的:** 北海道十勝地域を中心とした産直原料を活用した商品開発の推進や農商消連携を推進することで食料自給率の向上をめざすとともに、食と農を結び、環境保全型農業・循環型社会をめざし、都市と農村の交流を発展させることを目的とする。

## 産直協議会

毎年組合員を総会などに招待し、産地の状況や地域を知ってもらい、交流を行っています。

**協議会名:** ノーザンび〜ふ産直協議会(北海道)、山形コープ豚産直協議会(山形県)、まてっこチキン生産者連絡協議会(岩手県)、首都圏とトン協議会(千葉県)、産直いばらきうまがつべ牛乳協議会(茨城県)

**目的:** 組合員に供給する産直品の生産技術向上をめざす。

※海外では唯一タイに、タイ・パルシステム産直協議会があります。



## 発電産地の挑戦

# 再生可能エネルギーとともに

東日本大震災、および東京電力福島第一原発事故の教訓から、自然の力を活かした再生可能エネルギー発電事業の取り組みが、定着し広がっています。原子力に依存しない再生可能エネルギーへの切り替えは、パルシステムのエネルギー政策の大きな柱。持続可能な社会の実現をめざして、2016年秋から電気の小売をスタートしています。

## パルシステムでんきの発電所は64カ所（2025年3月現在）

### ☀️ 太陽光発電

- パルシステム東京**  
多摩センター（東京都多摩市）
- パルシステム神奈川**  
宮前センター（神奈川県川崎市）  
横浜中センター（神奈川県横浜市）
- NPO法人おがわ町自然エネルギーファーム**  
おがわ町市民協同蟹沢発電所（埼玉県比企郡小川町）  
おがわ町市民協同鬼ヶ谷発電所（同）
- ㈱パルシステム発電**  
ばる!さんさん発電所1号（埼玉県北葛飾郡杉戸町）  
ばる!さんさん発電所2号（東京都八王子市）  
ばる!さんさん発電所3号（神奈川県愛甲郡愛川町）  
ばる!さんさん発電所4号（埼玉県さいたま市）
- いわきおでんとSUN企業組合**  
いわき小川発電所（福島県いわき市）
- NPO法人みんなの発電所**  
みんなの発電所（山梨県上野原市）
- パルシステム千葉**

パルシステムのおひさまシェアリング（千葉県香取市）  
東金センター（千葉県東金市）  
印西センター（千葉県印西市）

- 神奈川中央養鶏農業協同組合**  
鶏舎太陽光発電所（神奈川県愛甲郡愛川町）  
直売所太陽光発電所（神奈川県愛甲郡愛川町）

- ㈱野菜くらぶ**  
野菜くらぶ発電所（群馬県利根郡昭和村）

- パルシステム茨城 栃木**  
みとセンター（茨城県水戸市）  
日立館（茨城県日立市）

- ㈱森のソーラー**  
鉾田太陽光発電所（茨城県鉾田市）  
古河太陽光発電所（茨城県古河市）  
つくば太陽光発電所（茨城県つくば市）

- ㈱さくらソーラー**  
富岡復興ソーラー発電所（福島県双葉郡富岡町）

- パルシステム福島**  
いわきセンター（福島県いわき市）

- パルシステム山梨 長野**  
西桂センター（山梨県南都留郡西桂町）

- しずおか未来エネルギー㈱**  
日本平動物園太陽光発電所（静岡県静岡市）  
西ヶ谷資源循環体験プラザ太陽光発電所（静岡県静岡市）

- ちば風土の会(㈱エスパワー)**  
御料ソーラーシェアリング（千葉県富里市）

- ㈱大潟共生自然エネルギー**  
大潟共生自然エネルギー太陽光発電所（秋田県南秋田郡大潟村）

- ひっば電力㈱**  
筆南太陽光発電所（宮城県伊具郡丸森町）

- あいコープみやぎ**  
日の出町センター（宮城県仙台市）

- NPO法人きらきら発電・市民共同発電**  
井土浜1号発電所（宮城県仙台市）

- 飯舘電力㈱**  
飯舘字大橋213-2太陽光発電所（福島県相馬郡飯舘村）  
飯舘字前田15-1太陽光発電所（福島県相馬郡飯舘村）

- 一般社団法人二本松有機農業研究会**  
二本松中里293-2発電所（福島県二本松市）

- おらって市民エネルギー㈱**  
新潟市黒崎市民会館（新潟県新潟市）  
新潟市舞平清掃センター（新潟県新潟市）

### 💡 バイオマス発電

- ㈱十文字チキンカンパニー**  
十文字チキンカンパニーバイオマス発電所（岩手県九戸郡軽米町）
- イフコンピュータージャパン㈱**  
独楽矢祭（福島県東白川郡矢祭町）
- 東北おひさま発電㈱**  
ながめやまバイオガス発電所（山形県西置賜郡飯豊町）
- ㈱南部町バイオマスエナジー**  
南部町バイオマス発電所（山梨県南巨摩郡南部町）

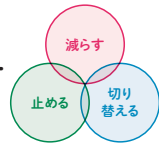
### 💡 地熱発電

- ㈱元気アップつちゆ**  
土湯温泉16号源泉バイナリー発電所（福島県福島市）

### 💡 水力発電

- 三峰川電力㈱**  
北杜西沢発電所（山梨県北杜市）  
北杜川子石発電所（山梨県北杜市）  
北杜蔵原発電所（山梨県北杜市）

## パルシステムの環境・エネルギー政策



- 【減らす】省エネルギー推進
- 【止める】脱原子力発電
- 【切り替える】再生可能エネルギーの普及

パルシステムグループは、東京電力福島第一原発事故を受け、エネルギーに関する政策をまとめました。「減らす」「止める」「切り替える」が3つのキーワードとなっています。

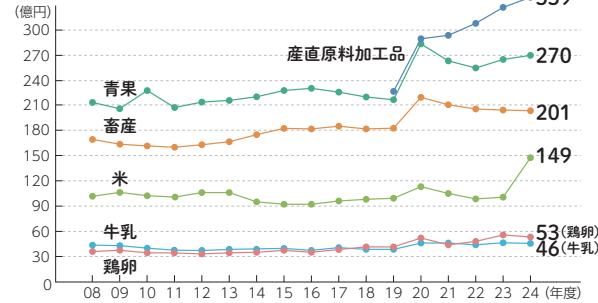
- 那須野ヶ原土地改良区連合**  
百村第一発電所（栃木県那須塩原市）  
百村第二発電所（栃木県那須塩原市）  
暮沼第一発電所（栃木県那須塩原市）  
暮沼第二発電所（栃木県那須塩原市）  
新青木発電所（栃木県那須塩原市）
- 野川土地改良区**  
野川小水力発電所（山形県長井市）  
野川第2小水力発電所（山形県長井市）
- ㈱元気アップつちゆ**  
土湯温泉東鴉川水力発電所（福島県福島市）
- 東北おひさま発電㈱**  
野川3号幹線小水力発電所（山形県長井市）
- 山梨県企業局**  
柚ノ木発電所（山梨県甲州市）  
藤木発電所（山梨県甲州市）  
小屋敷第一発電所（山梨県甲州市）  
小屋敷第二発電所（山梨県甲州市）  
野呂川発電所（山梨県南アルプス市）

### 💡 風力発電

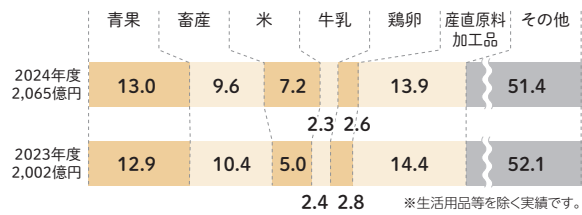
- コスモエコパワー㈱**  
度会ウィンドファーム発電所（三重県度会郡度会町）
- NPO法人北海道グリーンファンド**  
市民風力発電所・秋田1号機（秋田県秋田市）
- 一般社団法人秋田未来エネルギー**  
秋田未来エネルギー市民風力発電所（秋田県秋田市）
- 一般社団法人あきた市民風力発電**  
市民風力発電所・秋田2号機（秋田県秋田市）
- 一般社団法人波崎未来エネルギー**  
波崎未来エネルギー風力発電所（茨城県神栖市）

# パルシステムの産直事業

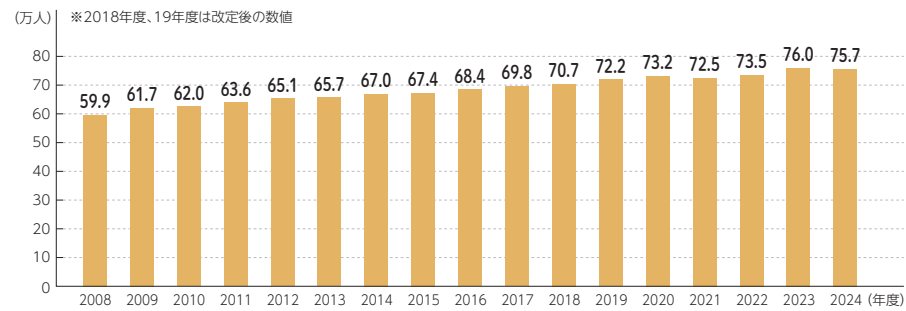
## ■農畜産物6部門受注高の年次推移



## ■食品受注高に占める農畜産物6部門の割合（％）



## ■パルシステムの実利用人数の年次推移

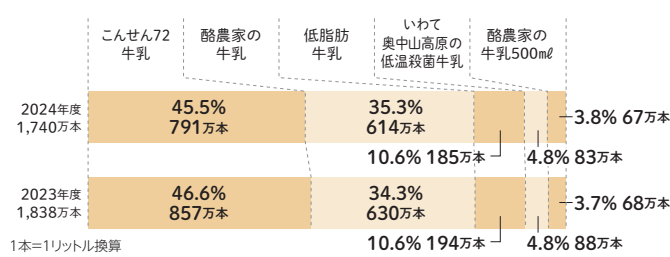


# 各部門の実績推移

※四捨五入の関係で数値の合計にズレが生じる場合があります。

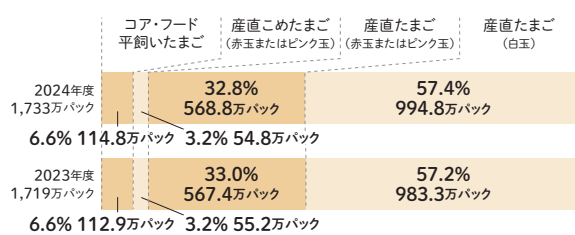
## 産直牛乳

### ■牛乳の出荷量・構成比



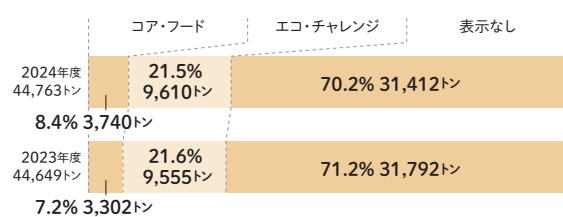
## 産直たまご

### ■産直たまごの出荷量・構成比

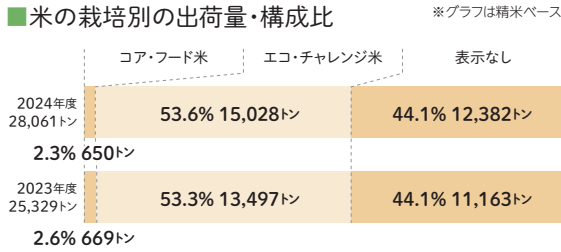


## 産直青果

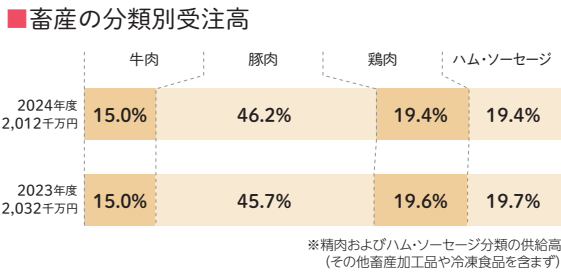
### ■青果の栽培別の出荷量・構成比



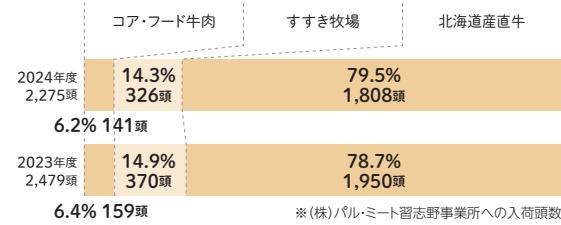
産直米



産直肉

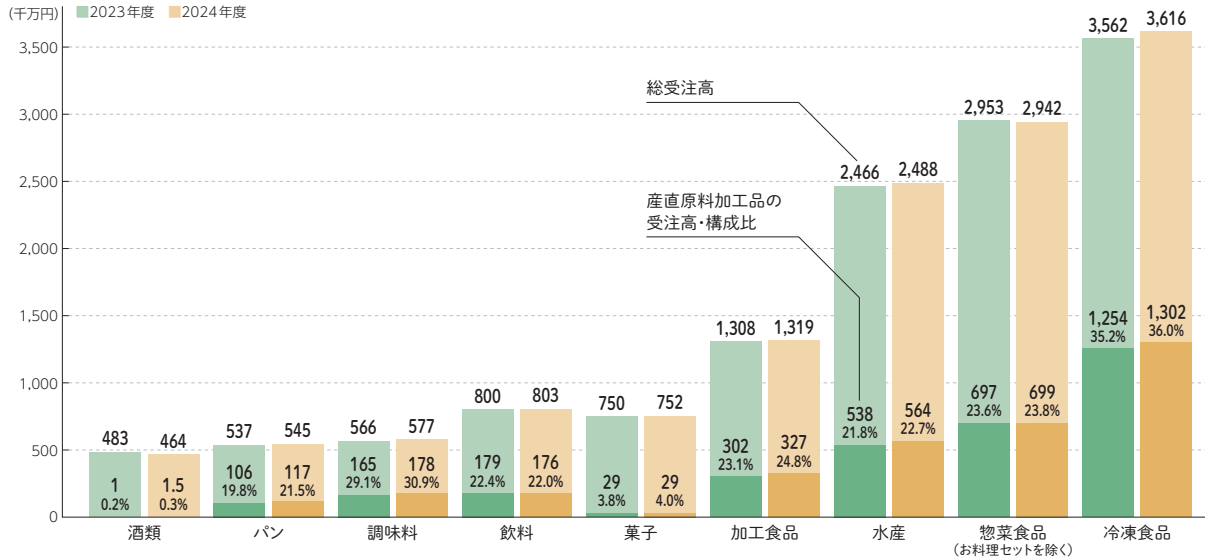


■牛肉の産地別出荷量



産直原料加工品

■産直原料加工品の部門別受注高・構成比



用語集 (50音順)

環境保全型農業

化学合成農薬や化学肥料の使用を抑えるなど、環境への負荷を低減する方法で行われる農業。

耕作放棄地

農家の高齢化や後継者不足などにより、耕されなくなり、放置された畑や田んぼ。

削減目標農薬

農薬削減プログラムにおいて、農薬削減に取り組むための指標と「エコ・チャレンジ」基準の要件として設定されている。「削減目標農薬」には、ADI値※が比較的低く、生態系リスクの高い農薬を指定している。

※ADIは「Acceptable Daily Intake」の略。「一日摂取許容量」のこと。これは、人が一生毎日摂取し続けても健康上影響がないと考えられる、化学物質の1日当たりの摂取量で、1日当たりの量を体重1kg当たりで示している。単位は「mg/kg/日」。

産直産地

パルシステムの「産直」の理念を共有するための「産直協定書」を取り交わした産地のみを「産直産地」と呼ぶ。産直産地の数は594。すべての産地において、誰がどのように生産しているのか、履歴を追える仕組みになっている。

産直比率

供給する商品全体を分母とし、産直産地から供給される商品が占める割合。

資源循環型農業

稲わらを家畜の飼料や敷料(床材)として利用したり、家畜のふんを堆肥化して畑にかえすなど、地域で資源を循環させる農業。

収穫後農薬不使用(ポストハーベストフリー／PHF)

収穫後の農産物に防カビ剤、防腐剤などの化学合成農薬を使っていないこと。

食品副産物／未利用資源

食品加工工場などから出る、加工した際の切れはしや搾りかす、豆腐工場から出るおからなど。未利用資源とは、食品副産物を含め、これまで利用されてこなかった資源をいう。パルシステムでは、規格外の米を飼料にしたり、規格外の大きさの野菜を加工品に利用する取り組みも進めている。

食料自給率

国内で消費される食料のうち、国内で生産される食料の割合。重量から算出、カロリーから算出などの種類がある。日本の食料自給率は1965年度にはカロリー換算で73%だったが、2022年度には38%まで落ち込んでいる。この数値は、世界の主要先進国のなかでも最低水準。多くの食料を輸入に頼っているのが現状。

飼料用米

家畜の飼料として使用される米。収穫量が多いなど、飼料専用の品種が開発されている。米だけをエサにする場合と、刈り取った稲を丸ごと飼料にする場合がある。

生物多様性

さまざまな生命が豊かに存在しているようす。さまざまな生きものがくらすことで、生態系のバランスが保たれ、土や水といった環境も守られる。生物多様性なくしては、農業も成り立たず私たちがくらすことはむずかしい。

デントコーン・サイレージ

飼料用の大形のとうもろこしであるデントコーン。これを青刈りし、サイロなどで発酵させた貯蔵飼料をデントコーン・サイレージという。発酵させることで、長期保存が可能となり、また家畜の腸を活性化させる効果が期待できる。

農薬削減プログラム

毒性の強い化学合成農薬の使用を避けながら、使用する総量も削減することを目的として、1998年にスタートした6つのプログラム。パルシステム生産者・消費者協議会協力のもとにつくられた。高温多湿の日本の気候風土のなかで化学合成農薬を削減するリスクなどについて、生産者と組合員が相互に理解を深めながら取り組み、持続可能な環境保全型農業を推進してきた。

パルシステムの栽培基準

コア・フード(農作物)

有機JAS認証(化学合成農薬、化学肥料を使わない※)を取得した農産物で、パルシステムのトップブランド。

※有機JAS認証の使用可能資材を除く

エコ・チャレンジ

食べる人や生態系への影響を低減する指標として「削減目標農薬」を定めるとともに、農薬総体の使用量削減を生産者とともにめざしている。化学合成農薬と化学肥料を各都道府県で定められた慣行栽培基準の1/2以下に削減。加えて、パルシステムの「削減目標農薬」の不使用を原則とする。青果は、除草剤、土壌くん蒸剤不使用。

表示なし

パルシステムの産直産地で生産され、生産者が明確で化学合成農薬の使用状況や土づくり資材が確認された農産物。または、環境保全型農業を推進し、農薬削減プログラムの達成に向けて努力をしている産地の農産物を含む。

バイオマス発電

動植物などの生物由来の有機性資源を燃焼させたり、発酵させたりして電気を起こす発電方式。

ハセツプ(ハサップ)

(HACCP／Hazard Analysis and Critical Control Point)

国連食糧農業機関(FAO)と世界保健機関(WHO)の合同機関である国際食品規格(Codex)委員会から発表され、各国に推奨されている国際的な食品の衛生管理方式。食品の原料の受け入れから製造・出荷までのすべての工程において、危害の発生を防止するための重要ポイントを継続的に監視・記録する。

有機JAS認証

JAS法(農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律)によって定められた、有機農産物や有機加工食品などを認証する制度。特定の化学合成農薬を使用しないなど、「JAS規格」に適合した生産が行われていることを、国に登録した認定機関が、オーガニック検査員の検査報告をもとに認定する。認定された農家や農業生産法人などの事業者のみが、有機JASマークを貼ることができ、このマークがない農産物や加工食品に、「有機」「オーガニック」、またはまぎらわしい表示をすることは禁止されている。

BMW技術／BM活性水

BMWは、B=バクテリア、M=ミネラル、W=ウォーターの略。農畜産物の排せつ物や残さ、鉱物を入れた水そうを曝気させて浄化する技術。得られる溶液は、ミネラルや菌を豊富に含む「BM活性水」と呼ばれ、畜舎に噴霧したり、家畜の飲み水に加えるなどして活用される。

FIT電気

FIT制度(再生可能エネルギーの普及を目的とした制度)によって電力会社に買い取られた再生可能エネルギーの電気。助成制度を利用している再生可能エネルギーか、利用していない再生可能エネルギーかを区別する必要があるため、助成制度を利用した再生可能エネルギーを「FIT電気」と呼ぶ。

IPM(Integrated Pest Management)／総合的害虫・雑草管理

多様な農業技術をバランスよく組み合わせることで、化学合成農薬だけに頼らずに病害虫の発生を抑えようとする考え方。害虫の侵入を防ぐための防虫ネットの活用や、アブラムシに対してテントウムシなどの天敵昆虫を使い害虫の密度を抑制する手法など、環境に影響の少ない農法として注目されている。

SPF(Specific Pathogen Free)豚

指定された5つの病原体を持っていない豚。



pal\*system

<https://www.pal.or.jp/>

制作・発行

パルシステム生活協同組合連合会 産直事業本部

〒169-8527 東京都新宿区大久保2-2-6 ラクアス東新宿

2025年6月発行

制作協力：(株)パル・ミート、(株)パルシステム電力

制作協力・印刷：パルシステム編集室 (株)パルシステム・リレーションズ、(株)YUIDEA)

VOC  
FREE

VOC(揮発性有機化合物)成分フリーの  
インキを使用して印刷しました。

